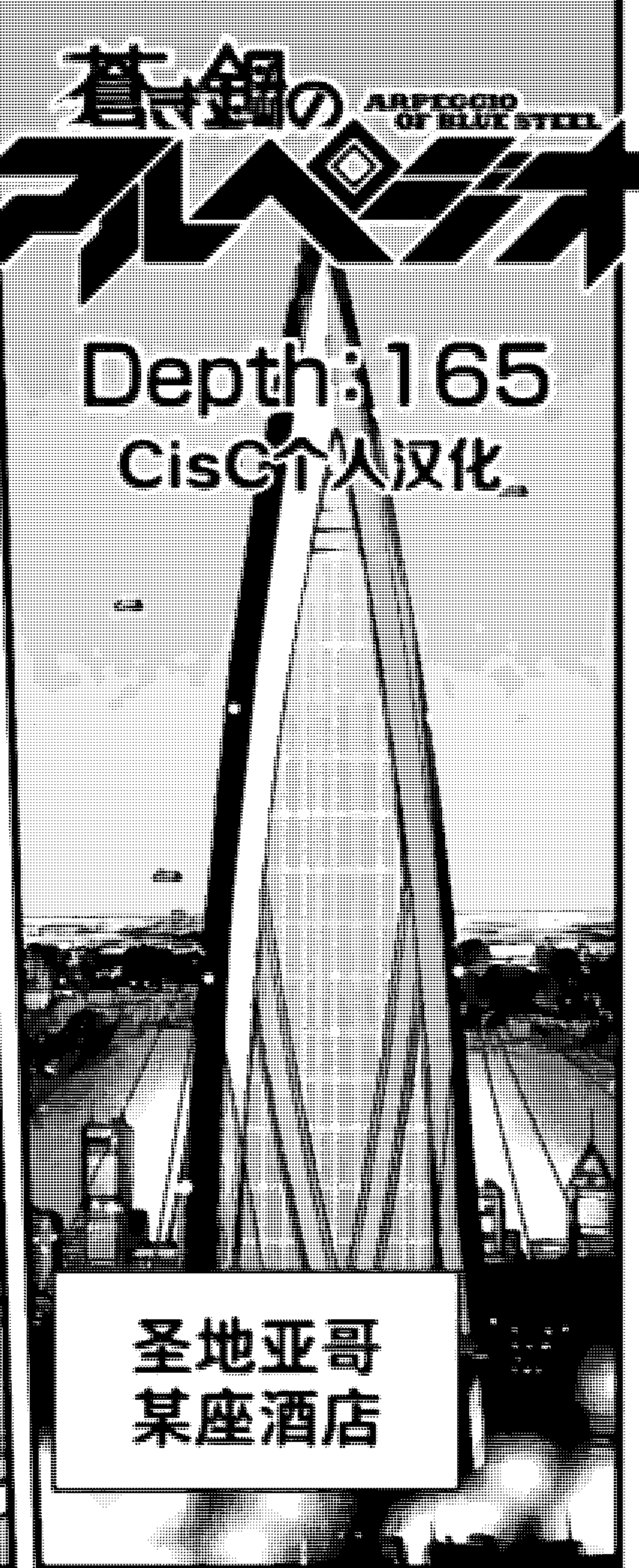


Depth: 165  
CisG 个人汉化



▼米国政府内で妖しい動きが……

必须要搞清楚  
他们是通过

什么样的方式  
拿到那东西的

这一点上我们  
也是持相同意见

「白鲸」是受到  
海雾舰艇的护航  
才抵达我国的

关于这一点

根据他们的  
航海记录以及  
我们从卫星上观察  
到的情报来看——

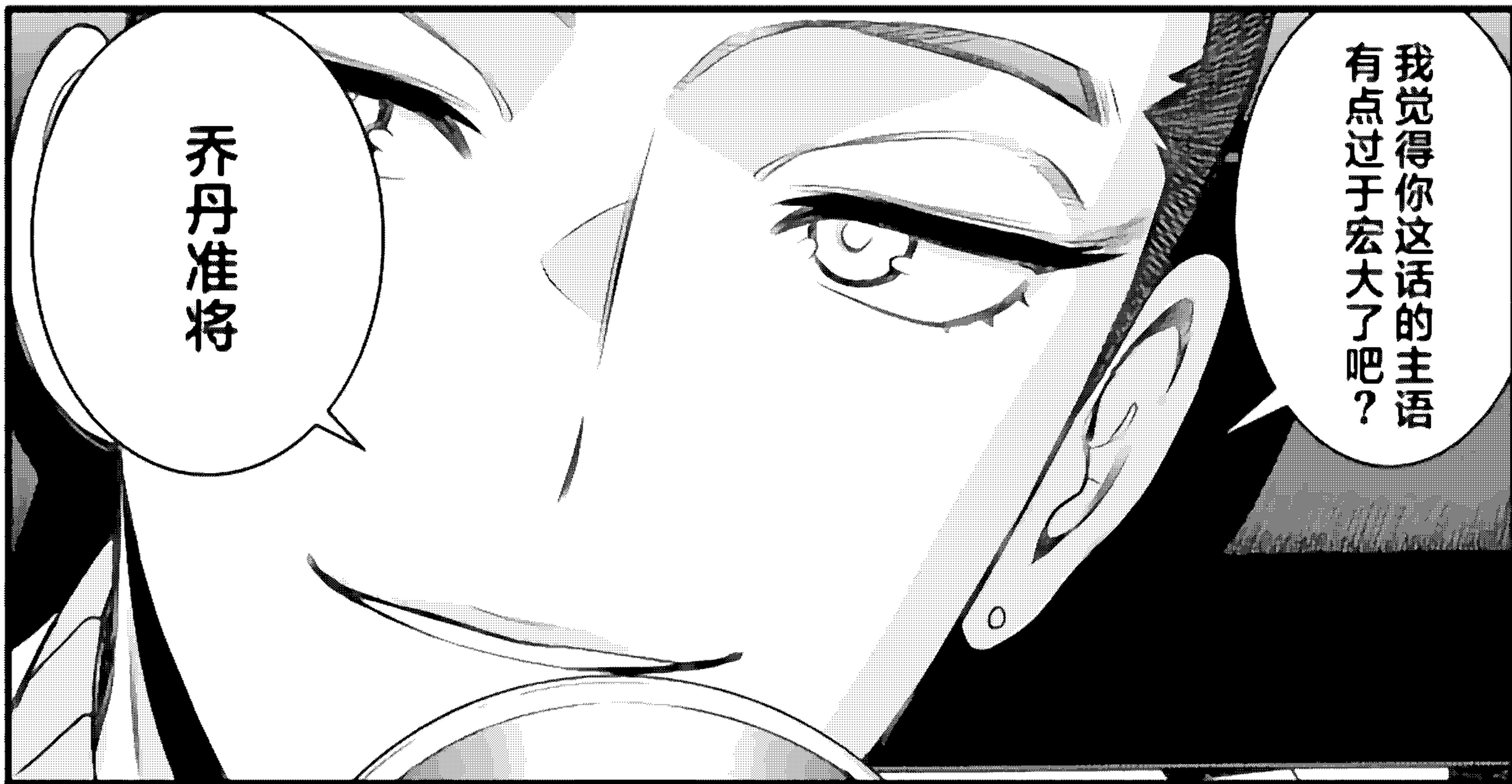




但我们军队  
还没有接受

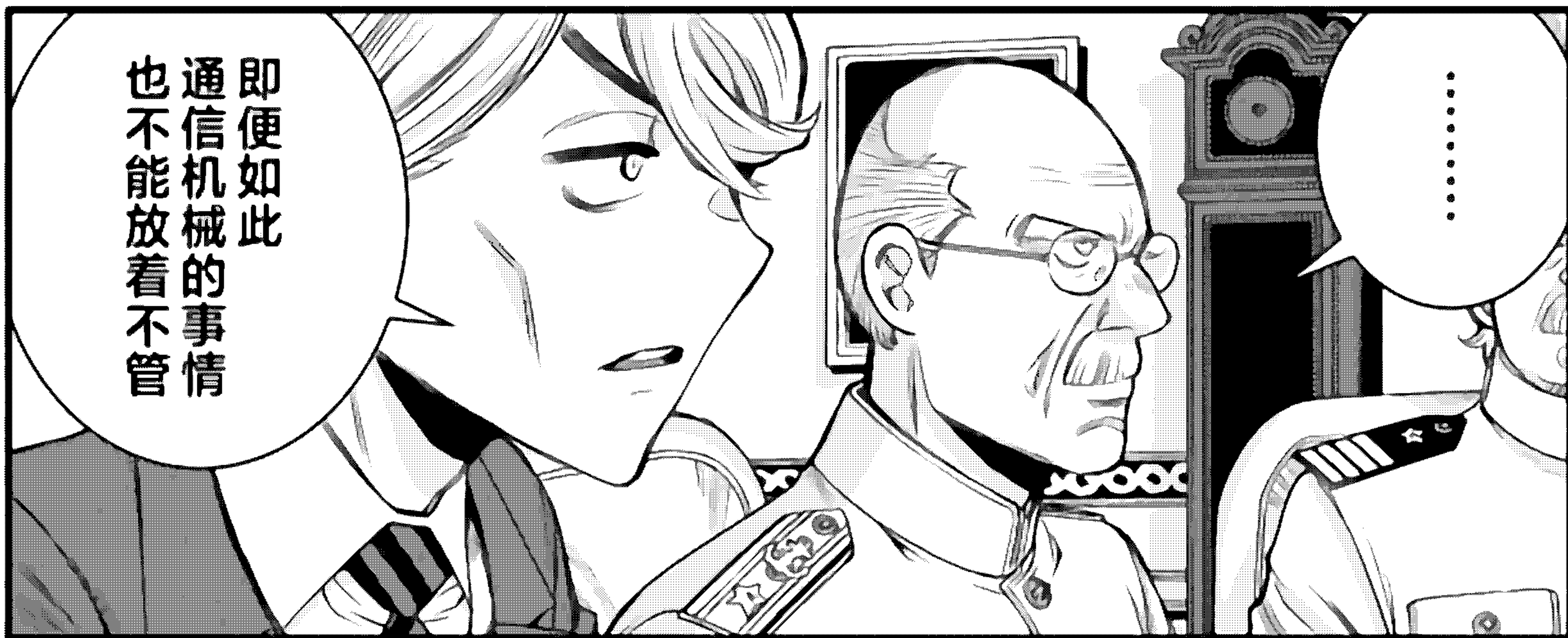


他们的说法  
也是有正当性的  
所以这事应该已经  
解决了不是吗？



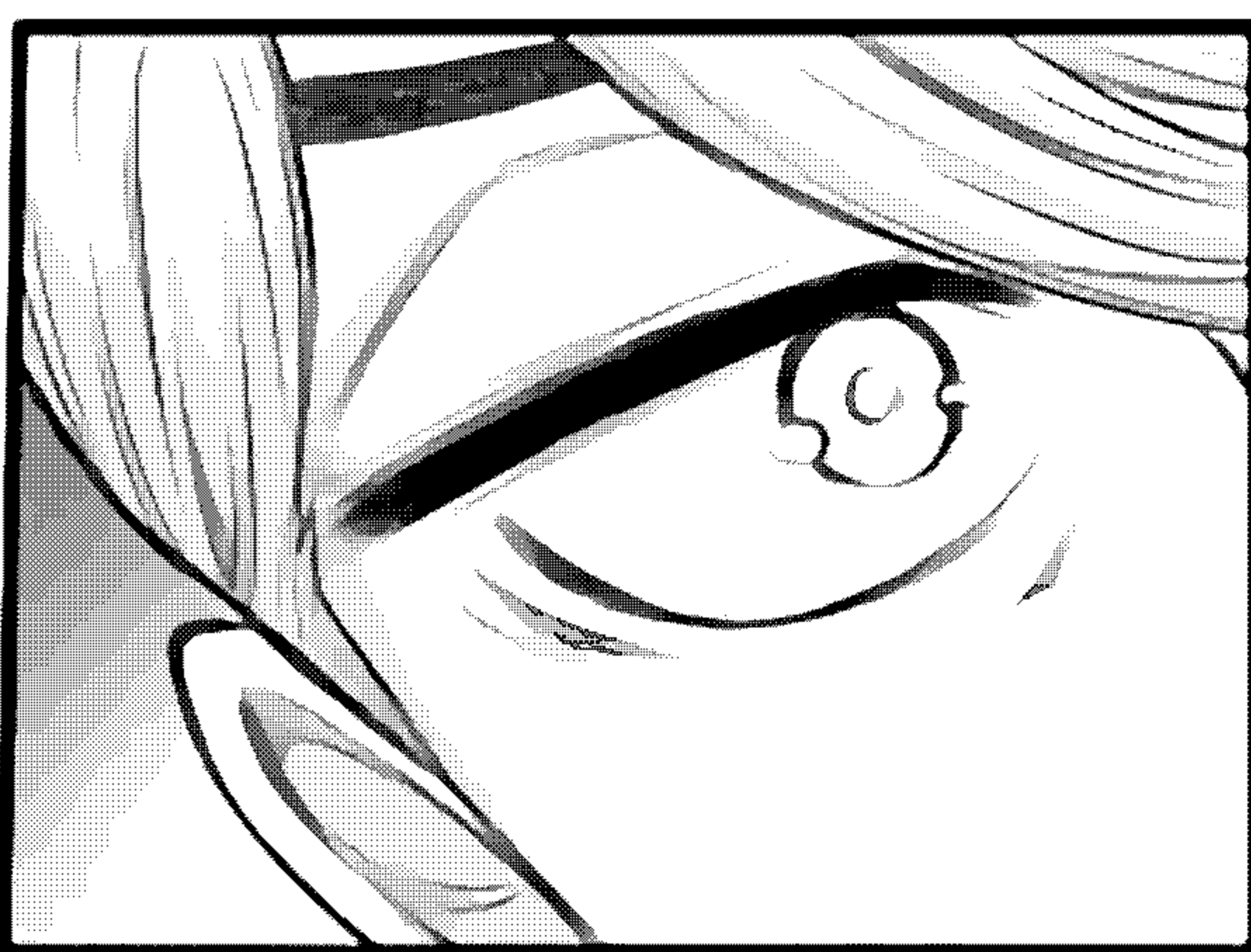
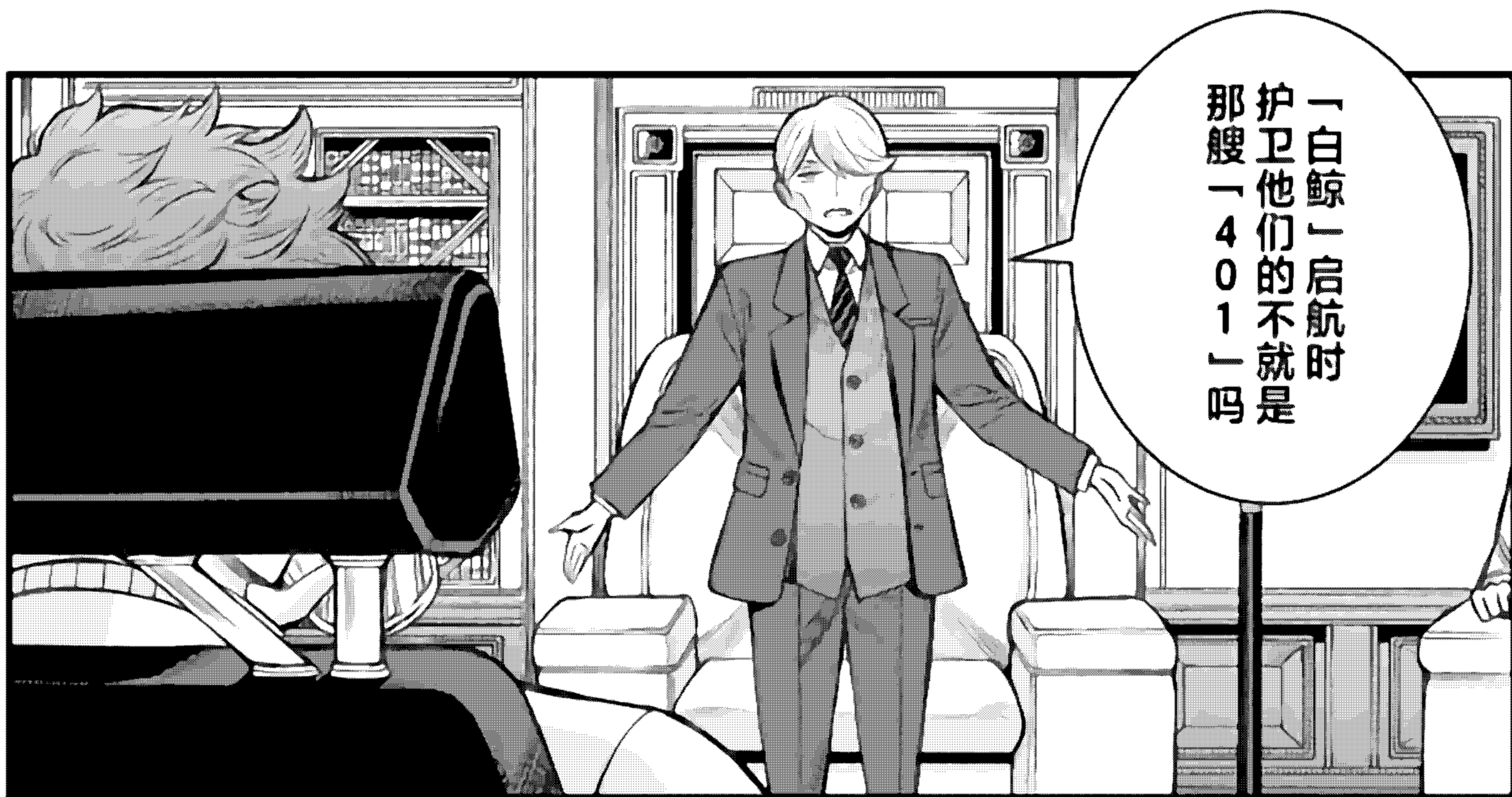
乔丹准将

我觉得你这话的主语  
有点过于宏大了吧？



即便如此  
通信机械的事情  
也不能放着不管

……





而且美利坚又  
什么时候成了  
儿子要为父亲负责  
的国家了

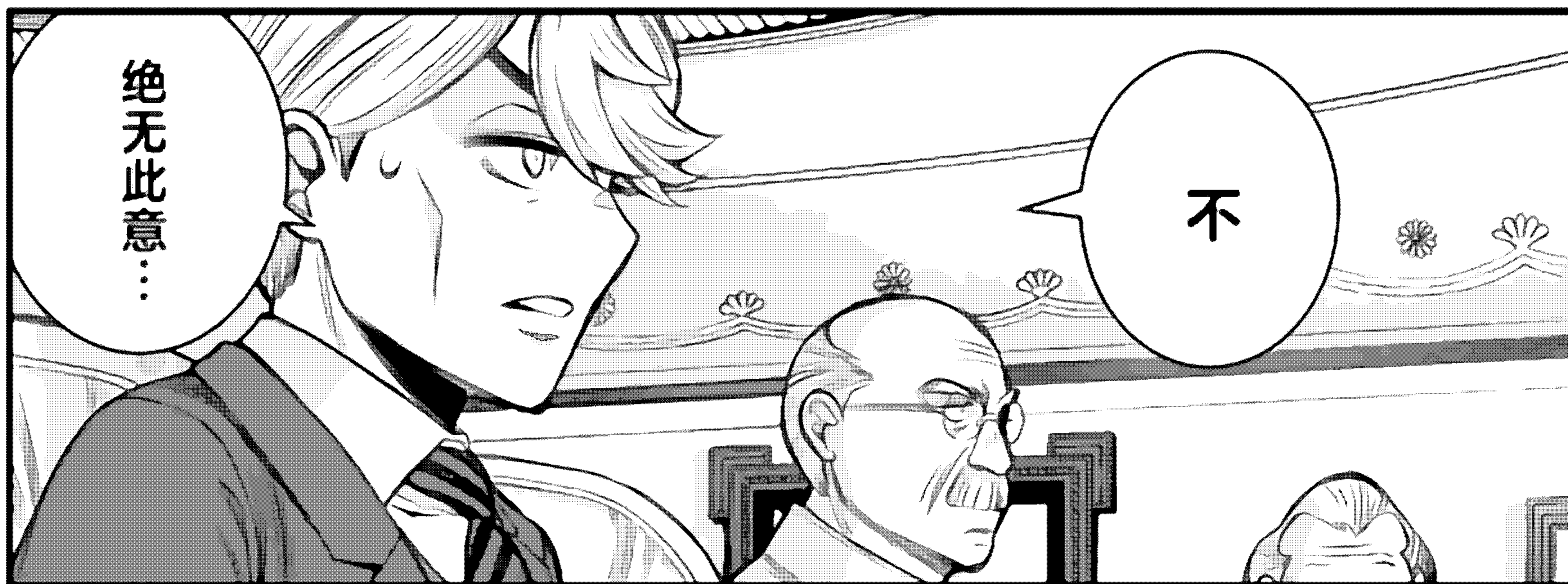
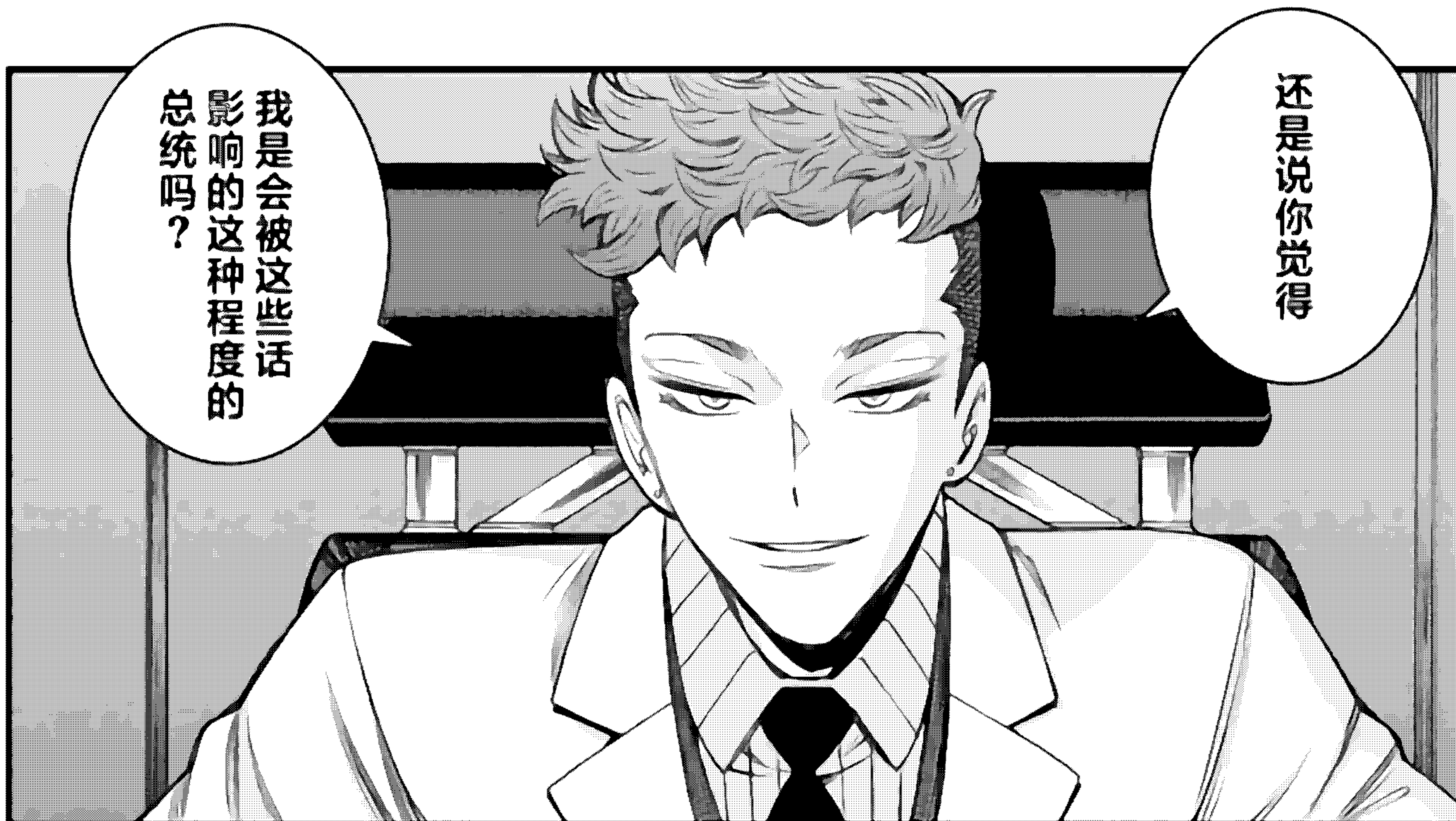
奥斯洛

奥斯洛  
你是一位众议员

没有任何证据就在  
会见总统的正式场合  
搞这种印象操作  
是不好的

那个……

不……





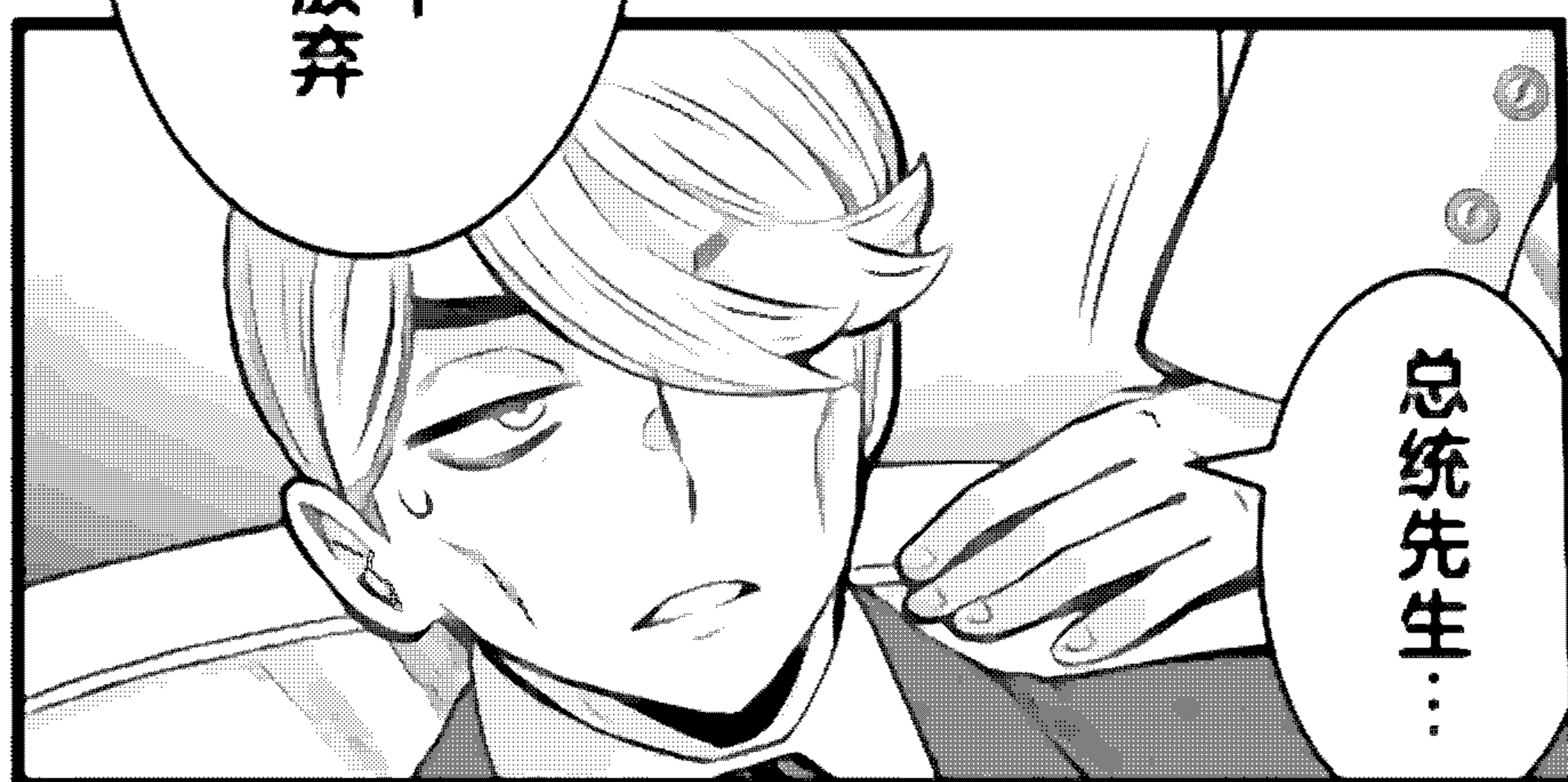


我就尽可能地  
延长「白鲸」的  
停留时间吧

但这充其量  
最多只是一种请求  
如果他们真说要回日本  
我也不能阻拦



那么就  
赶紧决定



总统先生……

是快点开干  
还是直接放弃



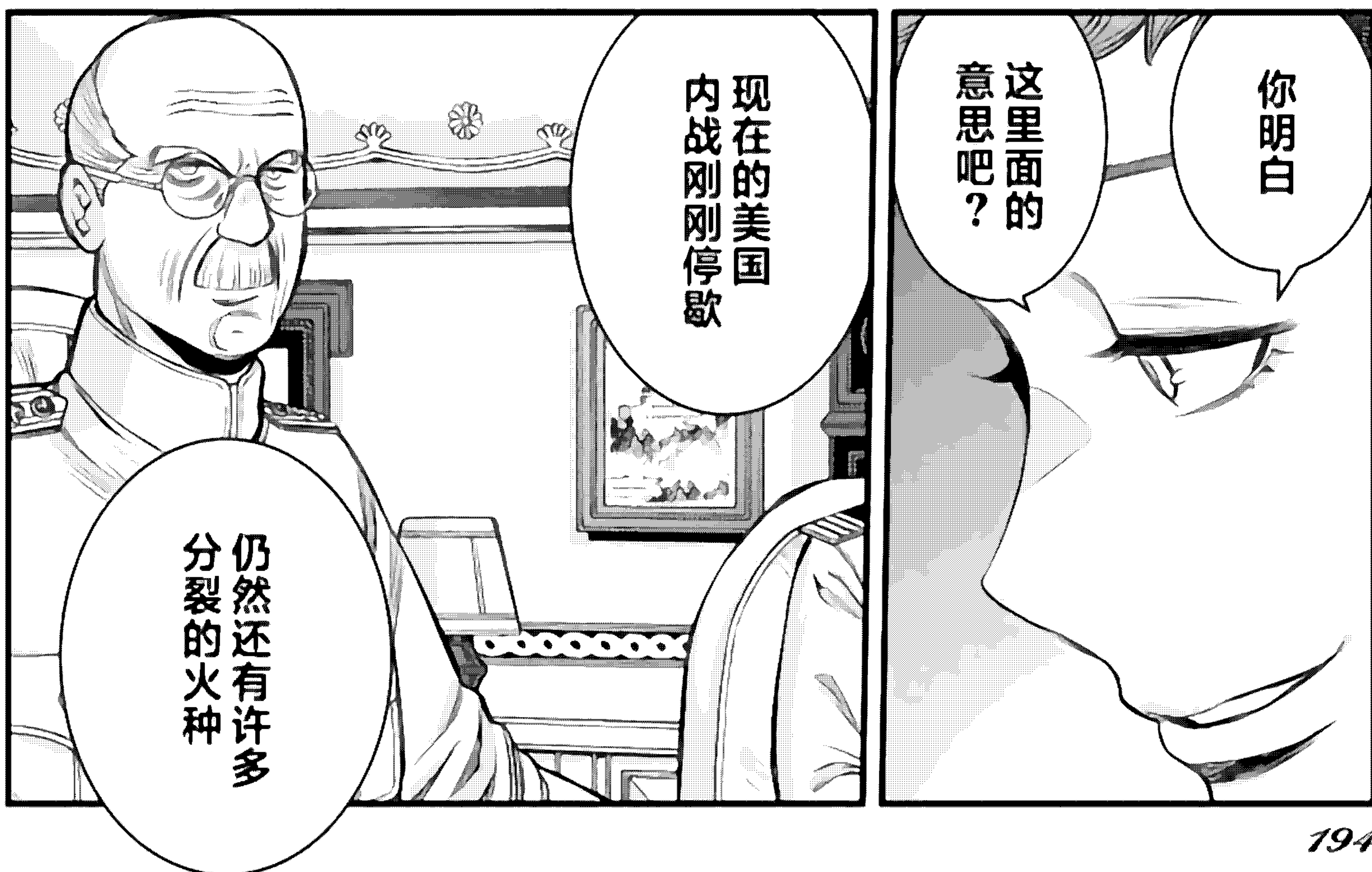
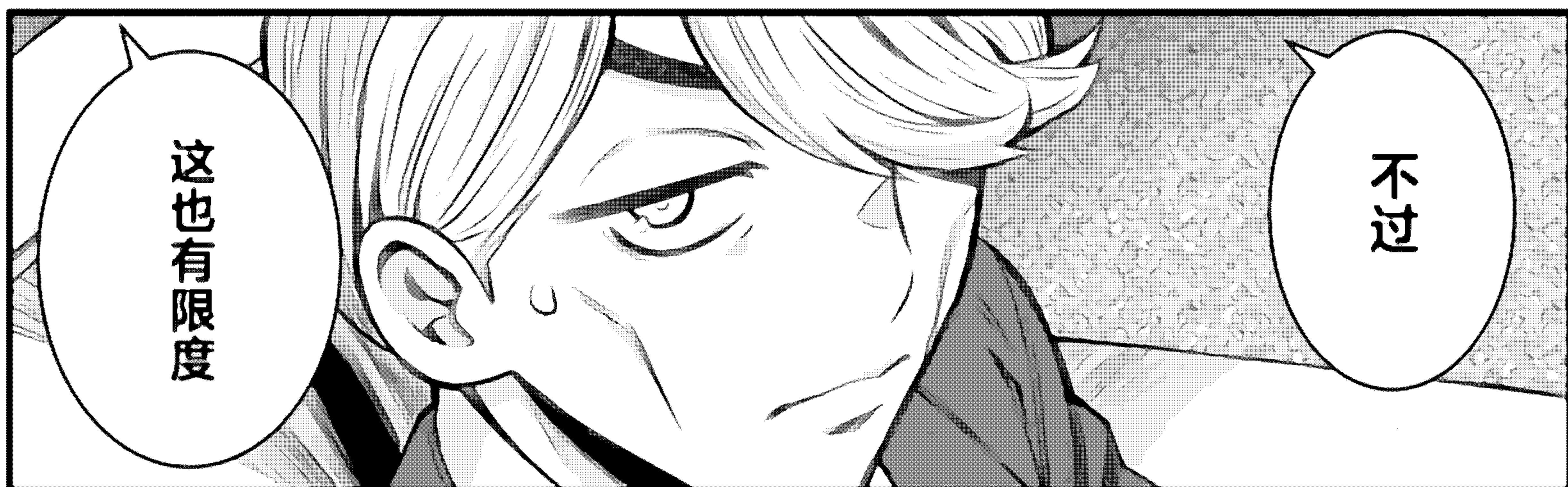
所以说呢

如果你们有  
什么事情想做



但是

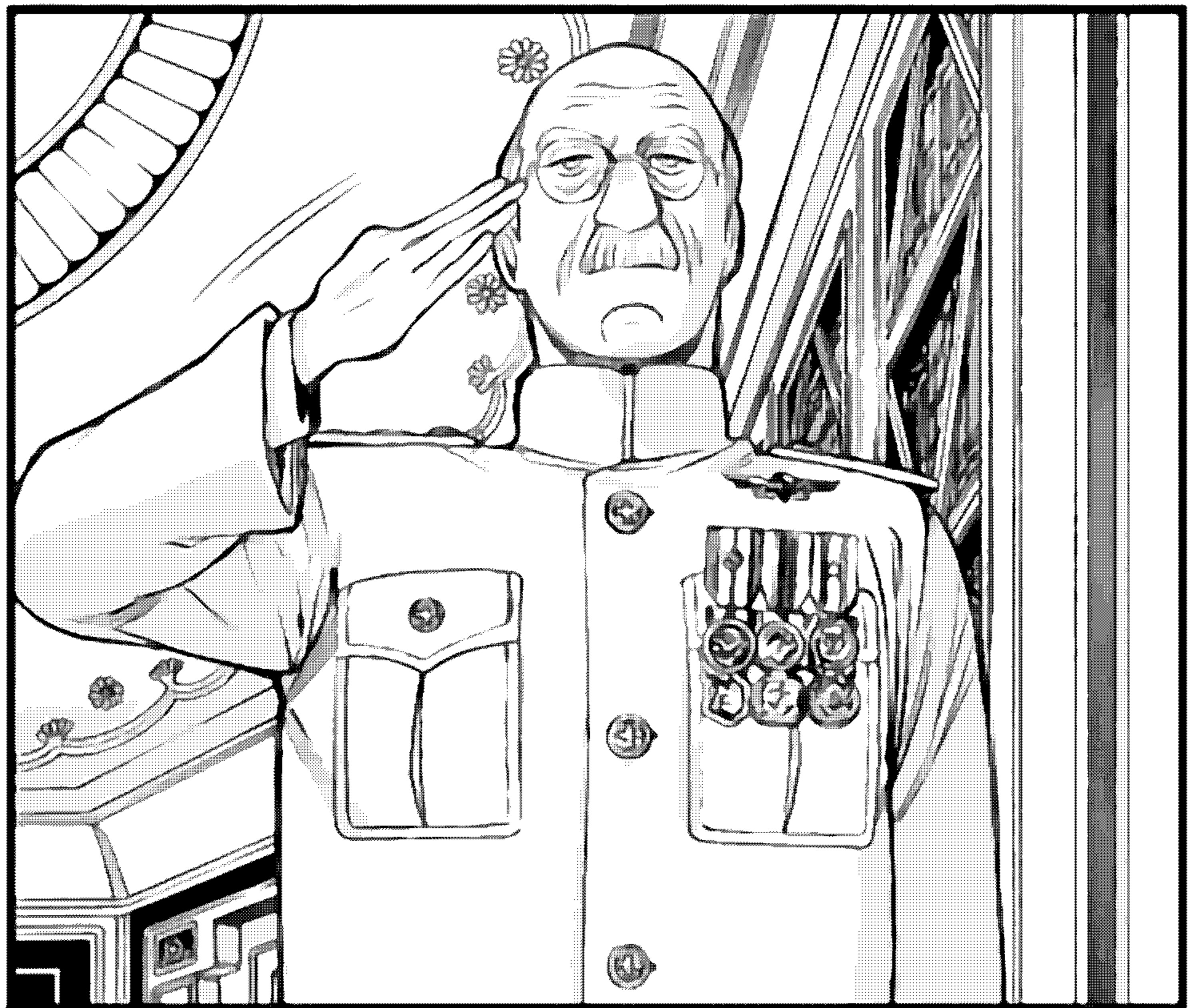
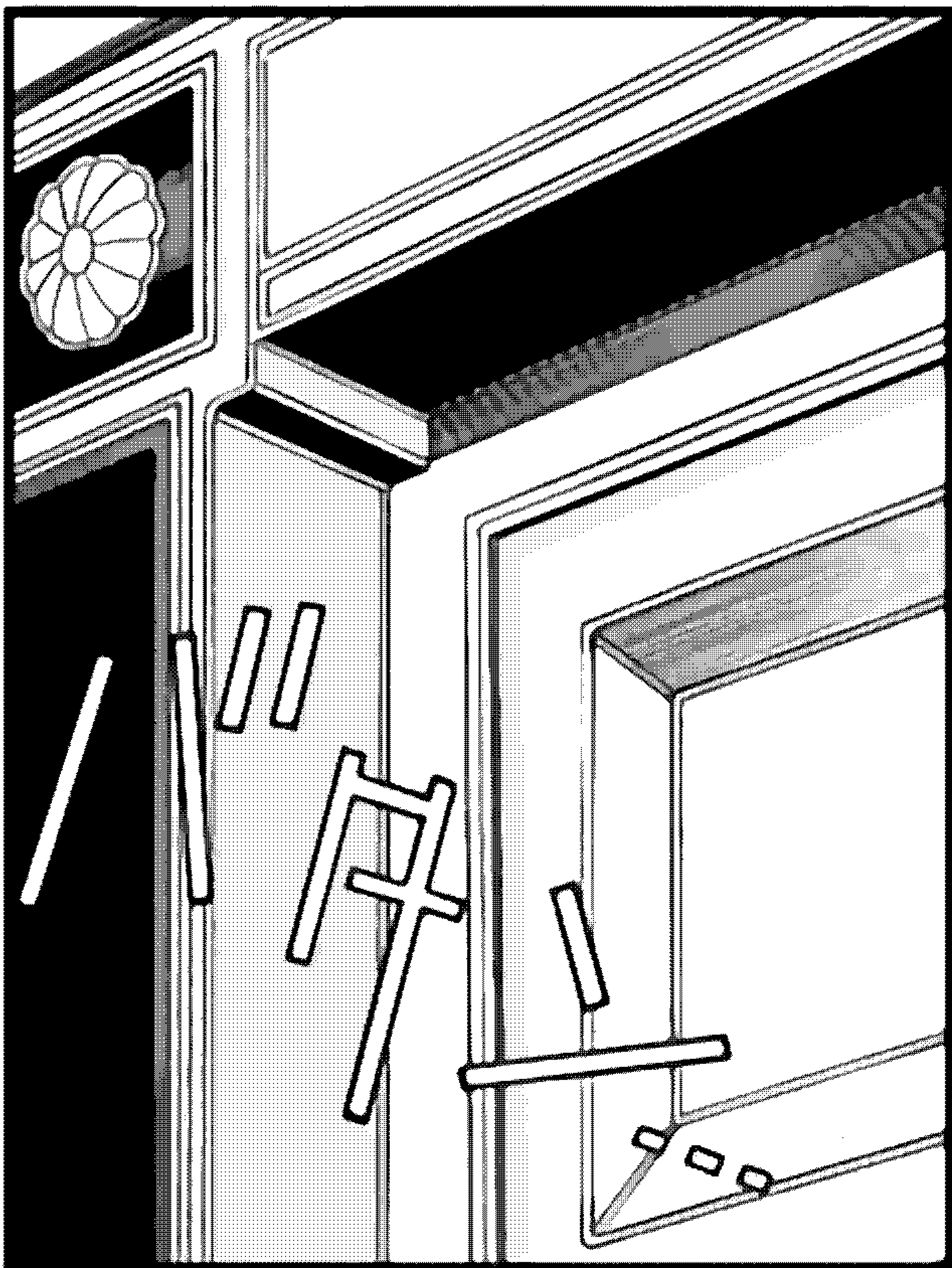
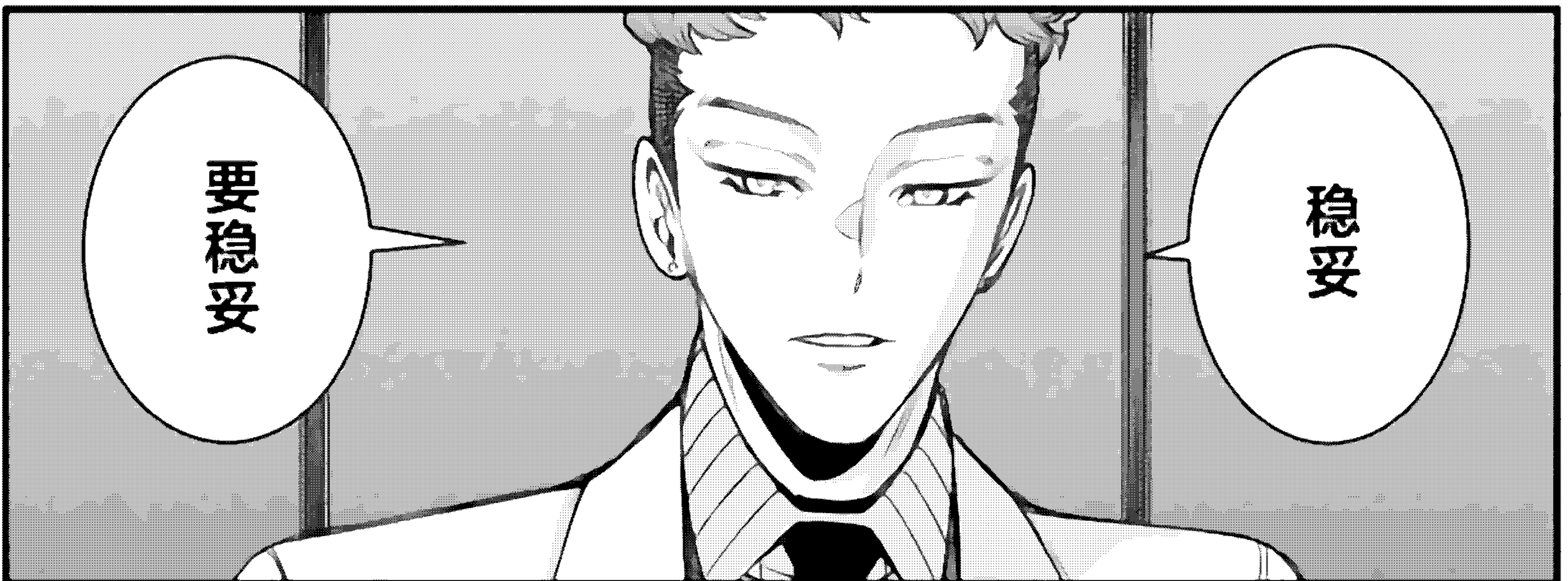
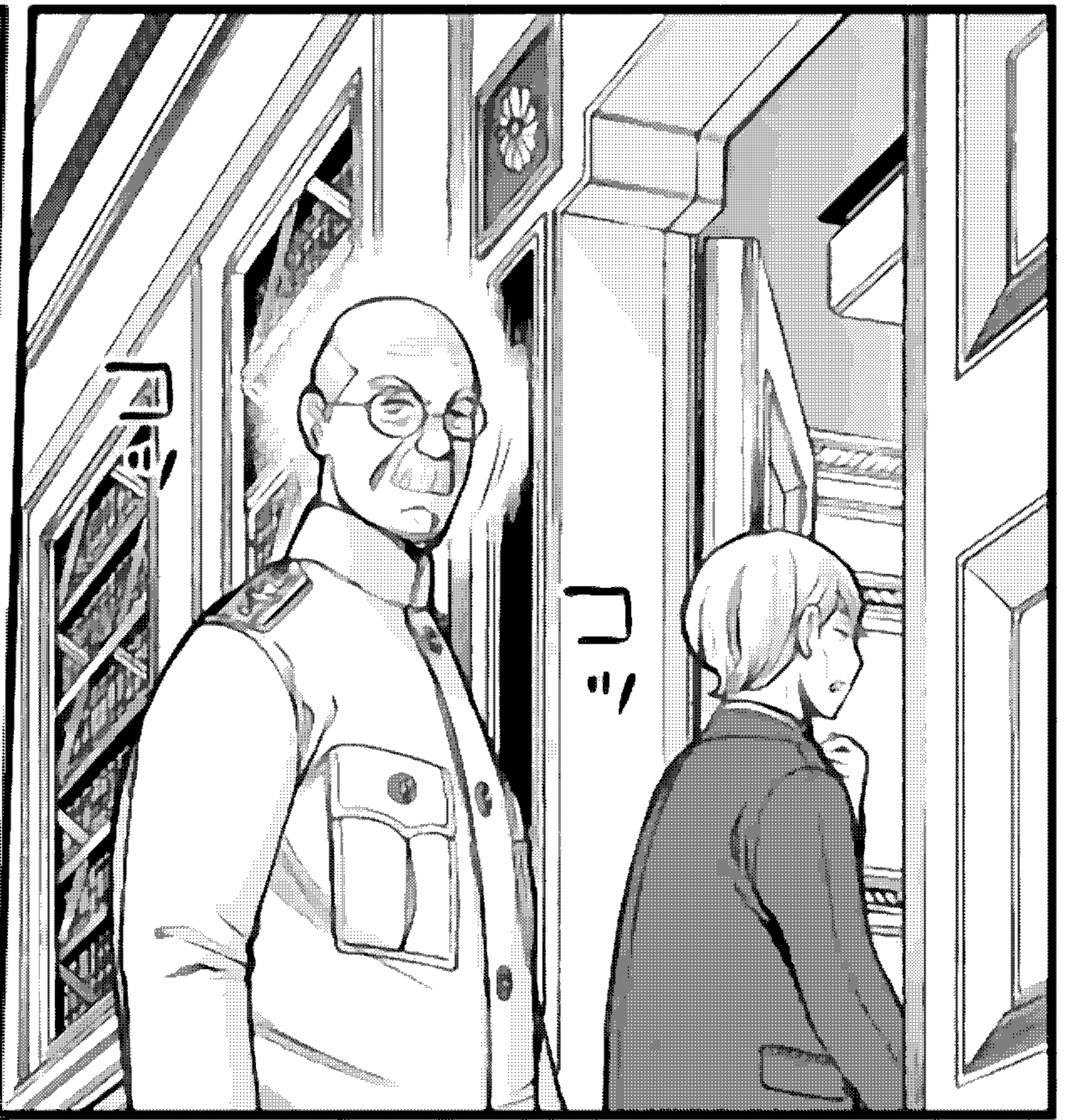
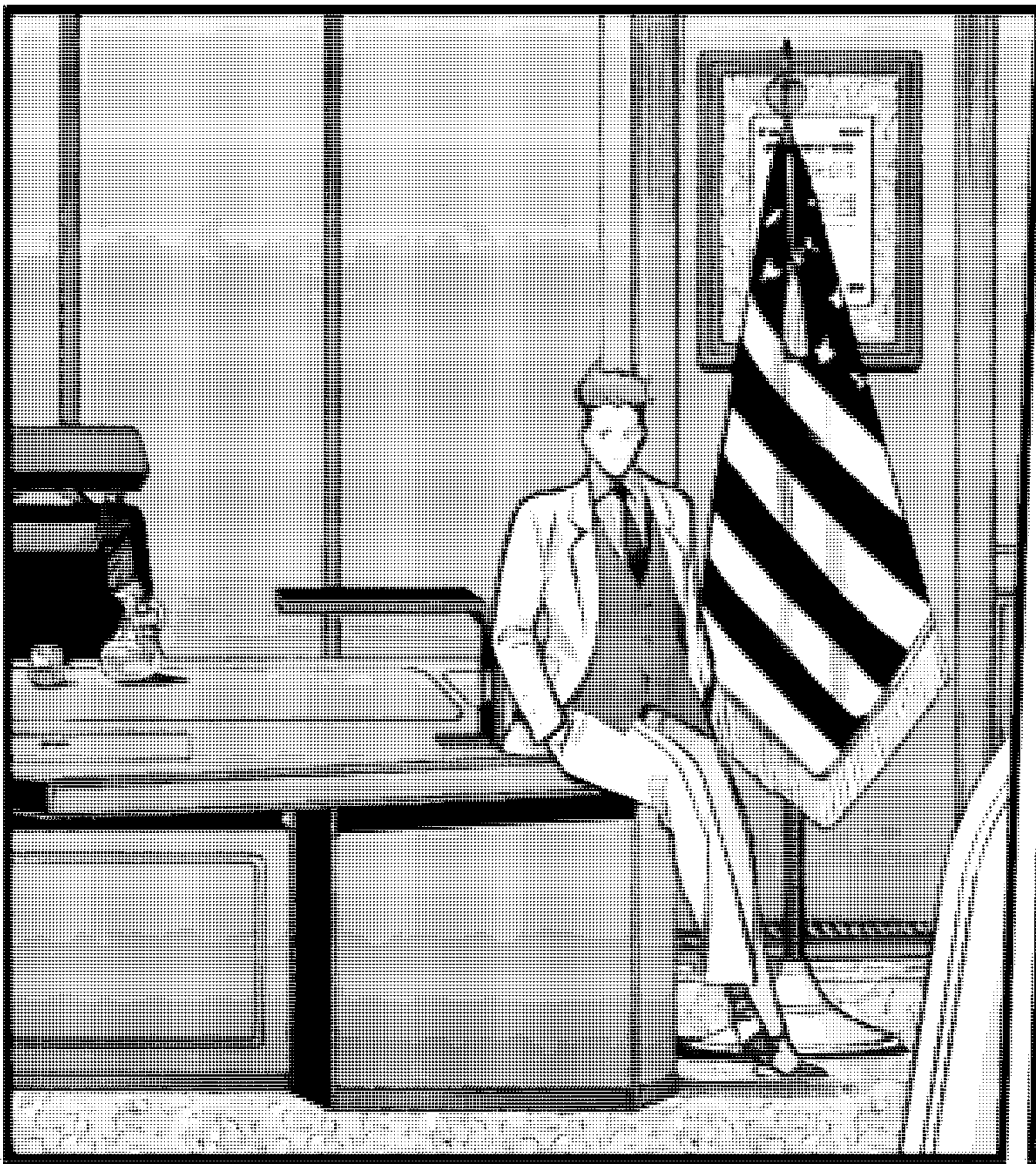
必须要稳妥



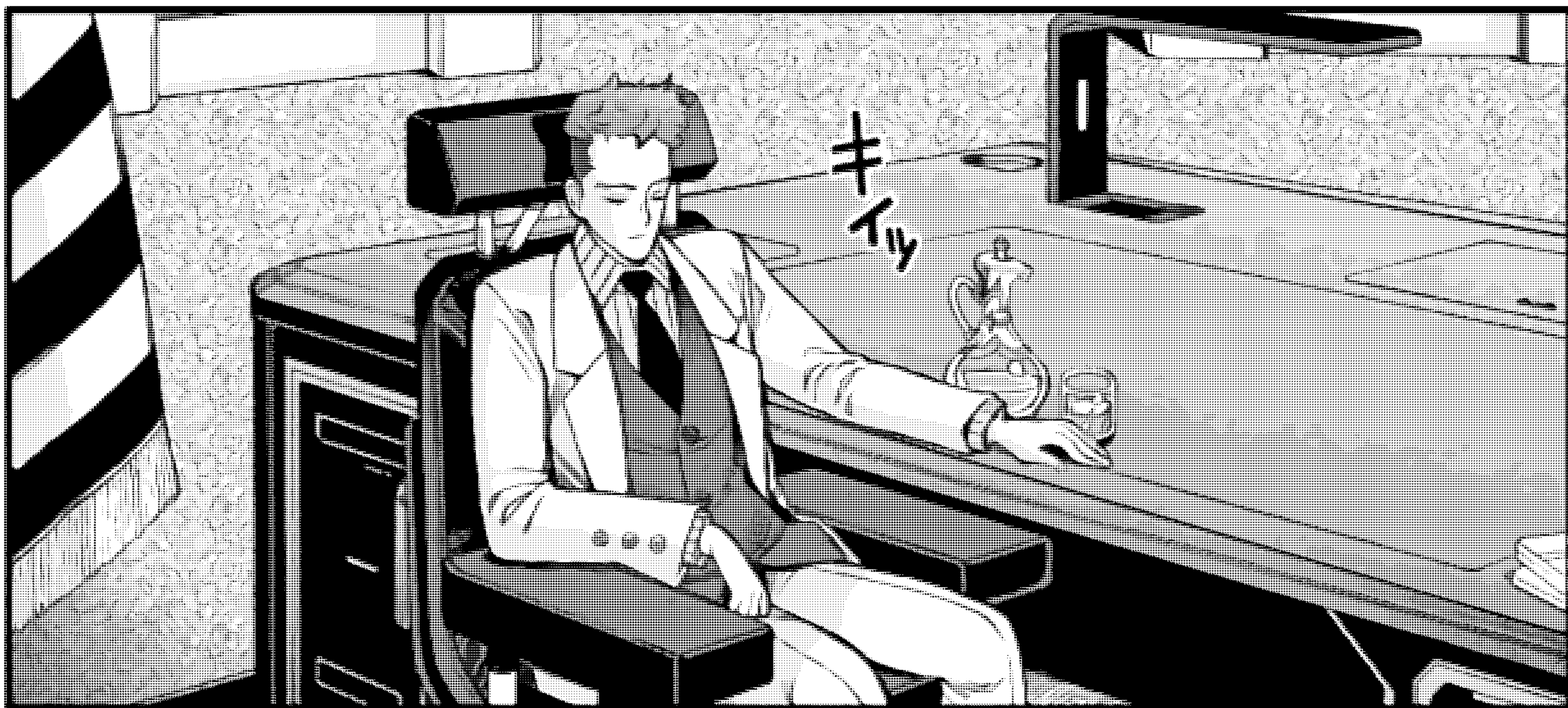












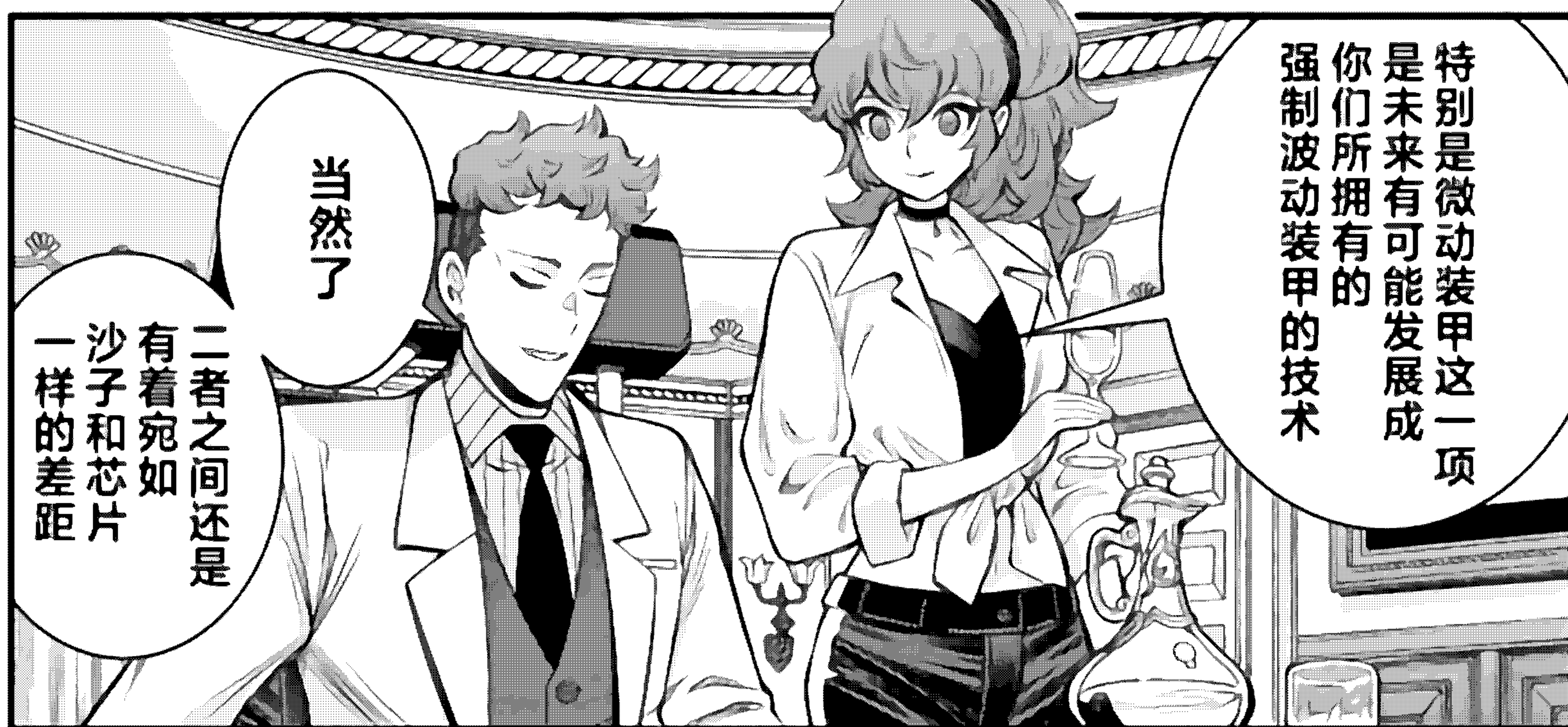


支持他们的  
票仓里面  
有很多涉及  
先进技术的企业

而这两项技术  
我国又都没有掌握

カッ

カッ



特别是微动装甲这一项  
是未来有可能发展成  
你们所拥有的  
强制波动装甲的技术

当然了

二者之间还是  
有着宛如  
沙子和芯片  
一样的差距



这只是  
遥远的未来  
罢了



如果你想要的话

两项技术都可以  
给你哦？



还没到该  
这么做的时候

过度的援助  
会让对方无法成长

而我们人类

还是需要成长的

你还是想  
继续当人类呢

啊啊  
我就是这个想法

那太好了

叮

次号  
NEXT

OUR's

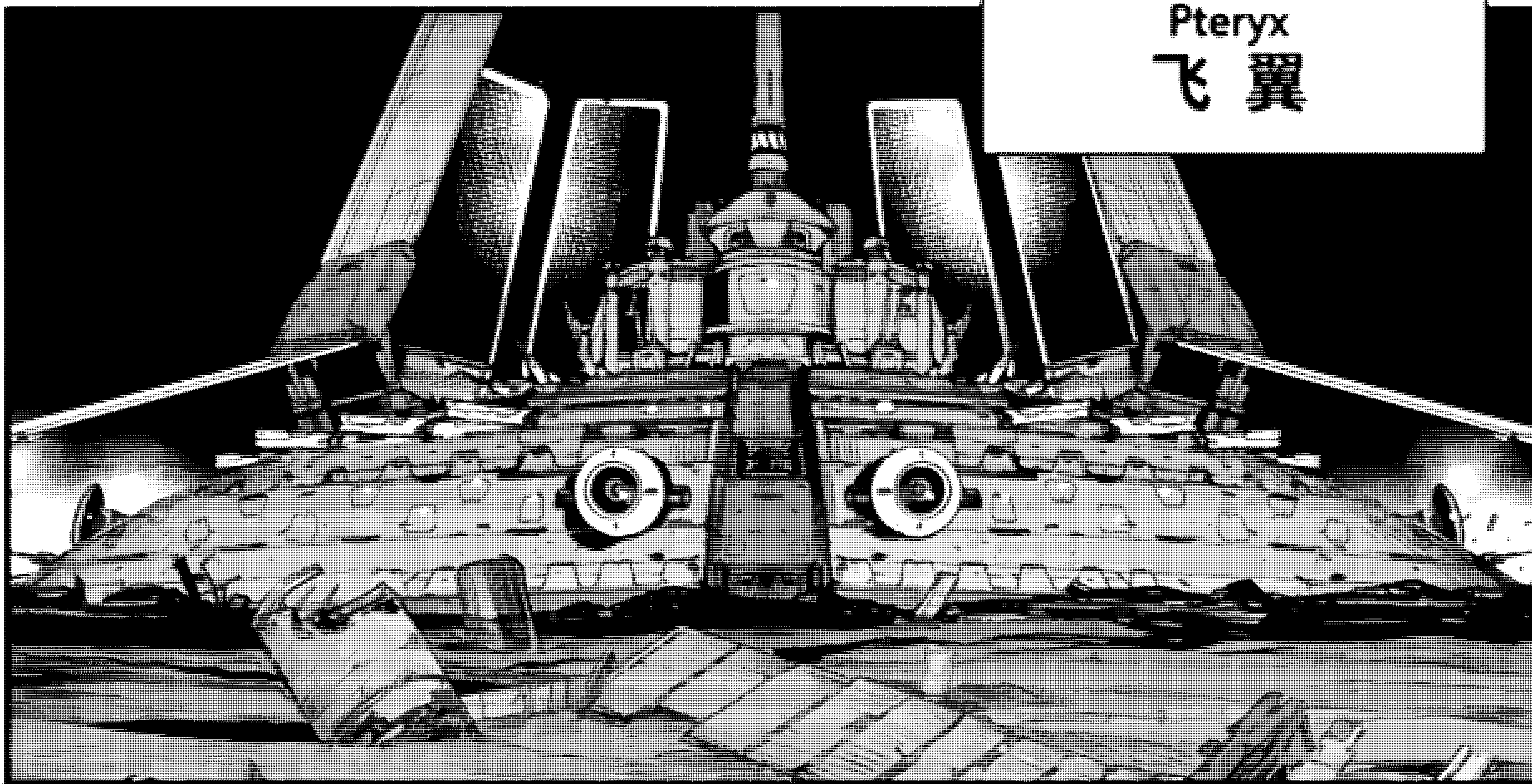
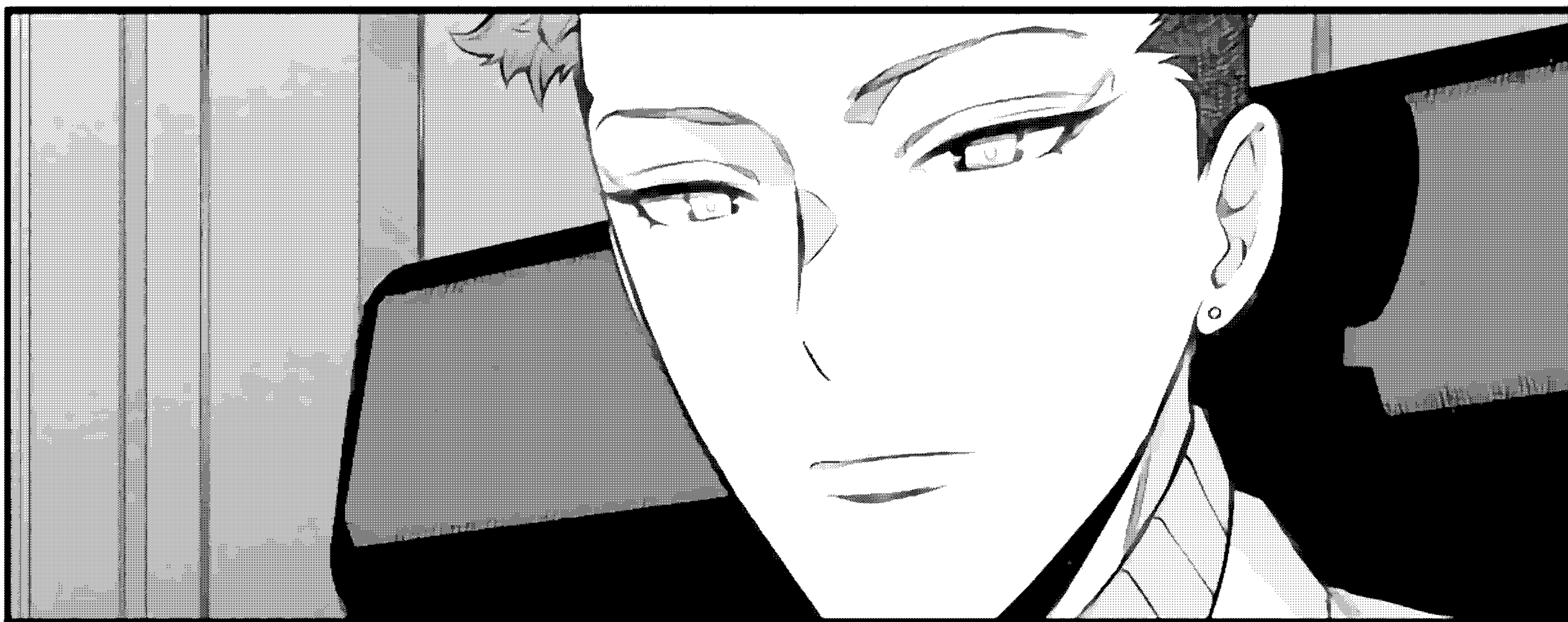
卷中カラー!!

ドッグ・タイムズ

長谷川哲也

矢野とんが現在を取り戻す  
ため一人の男が立ち向か  
う。巻中カラーで登場!!

5月30日発売



Pteryx  
飞翼

YK  
COMICS

MUJIN

〜無尽〜

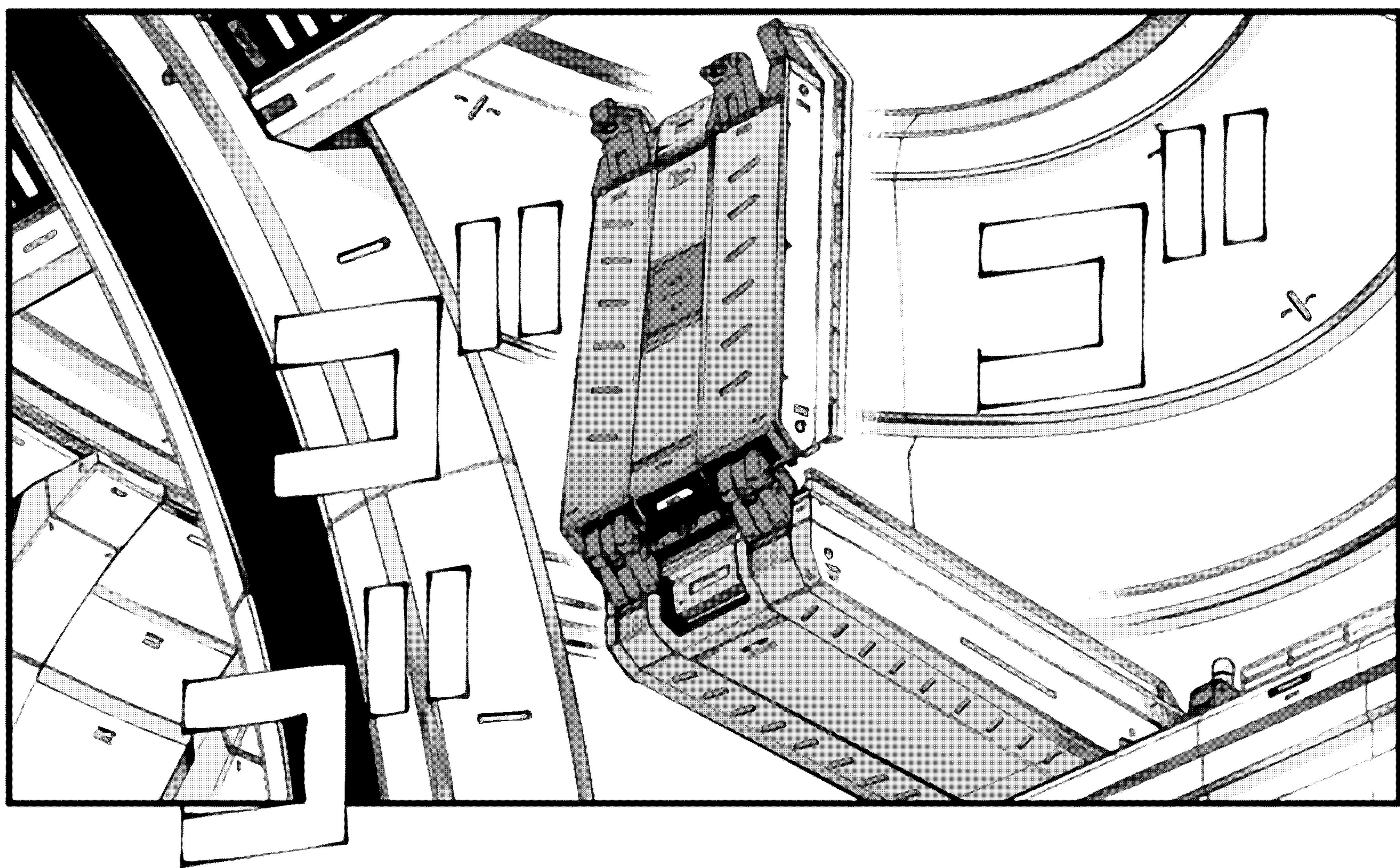
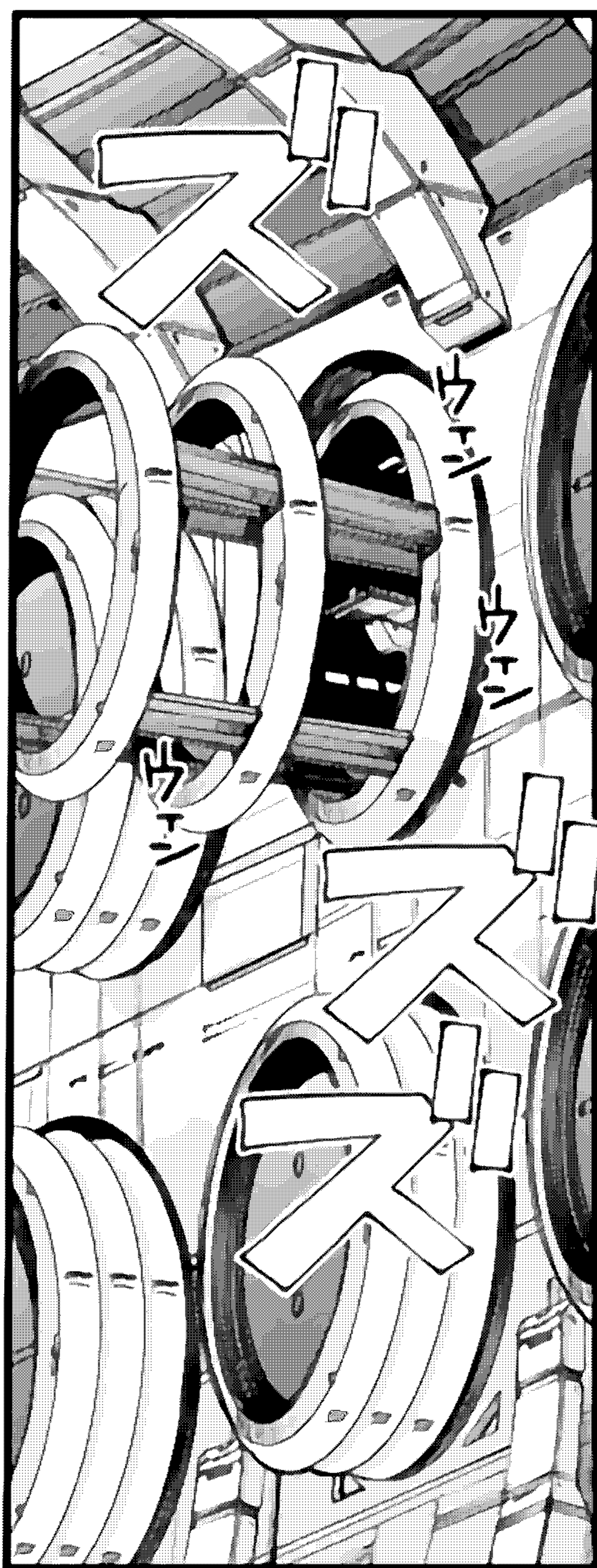
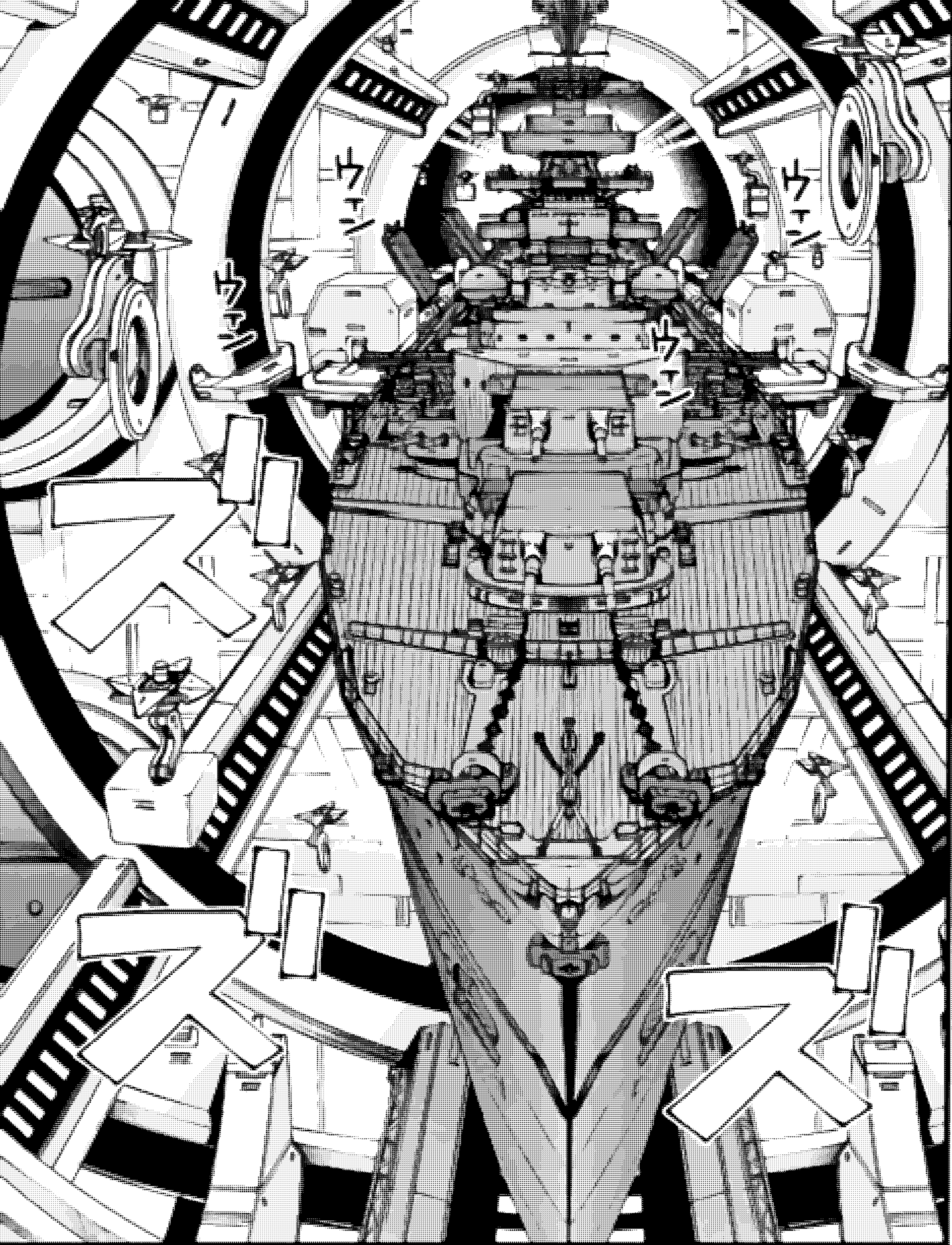
第13卷

南田屋愉一

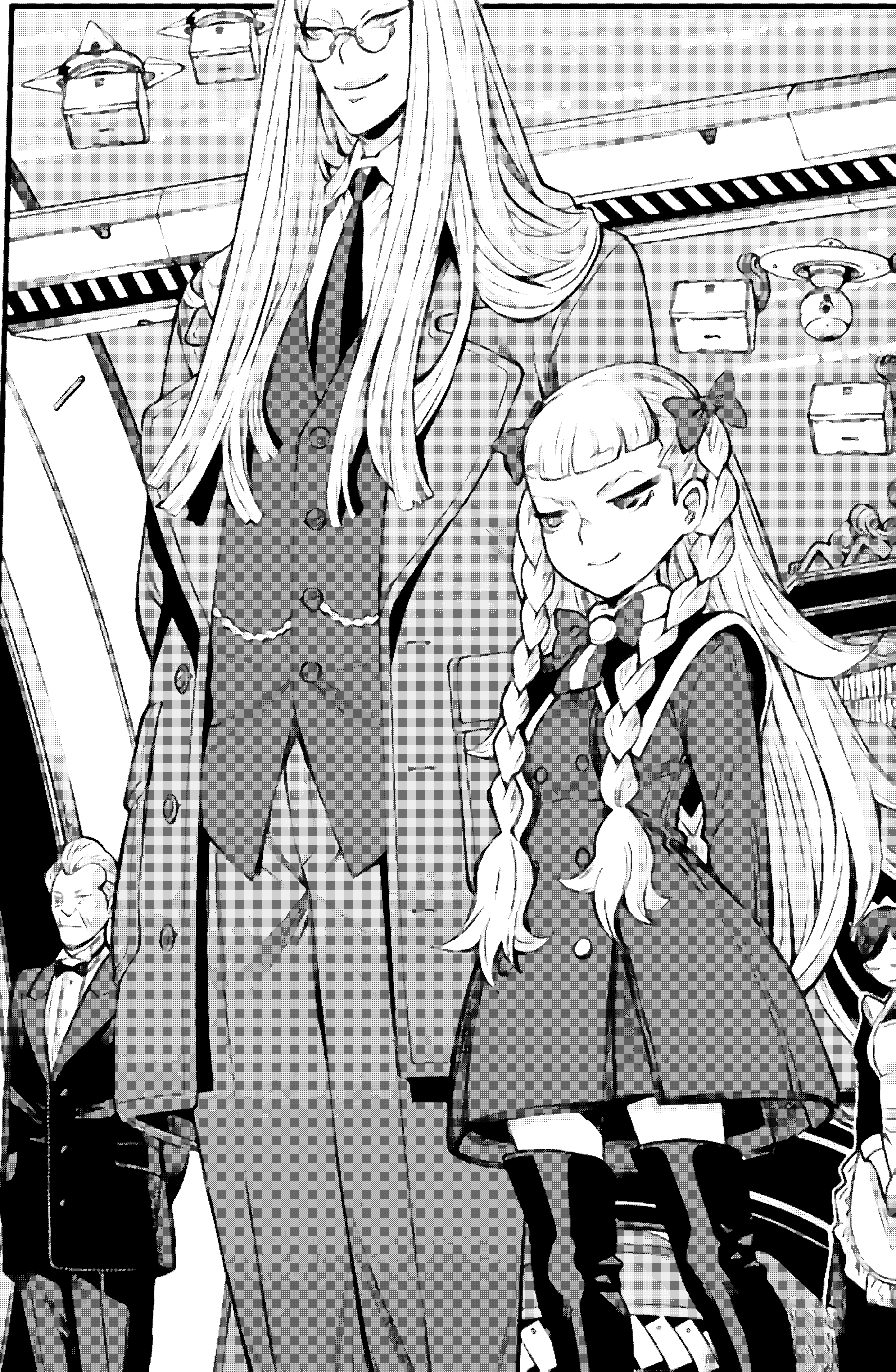
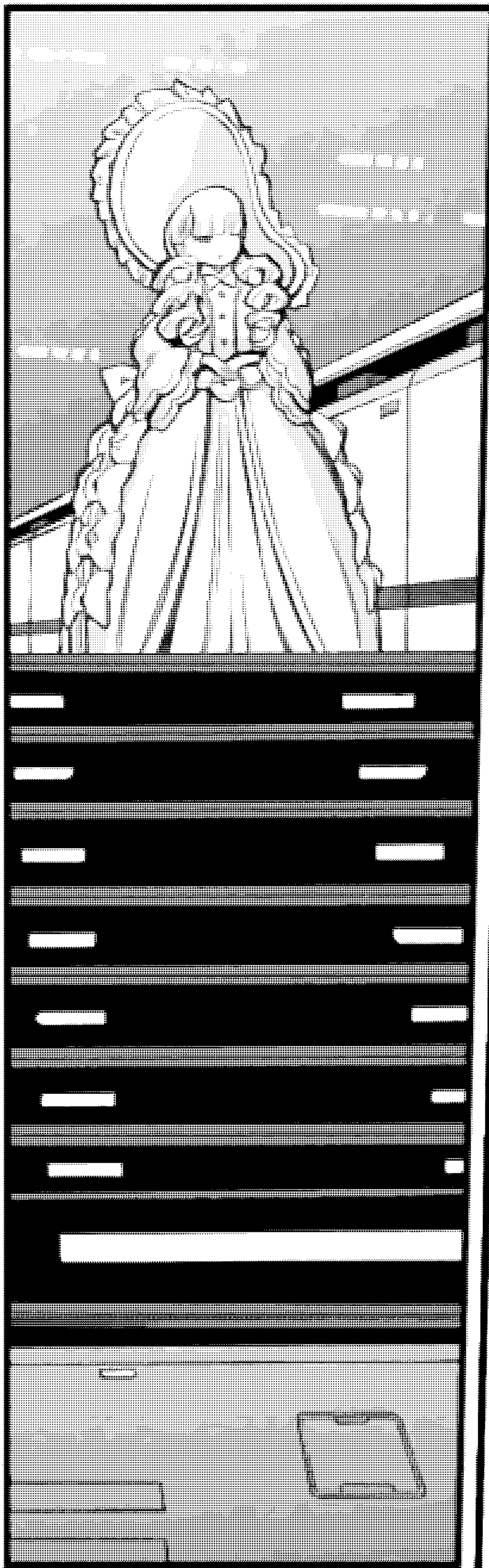
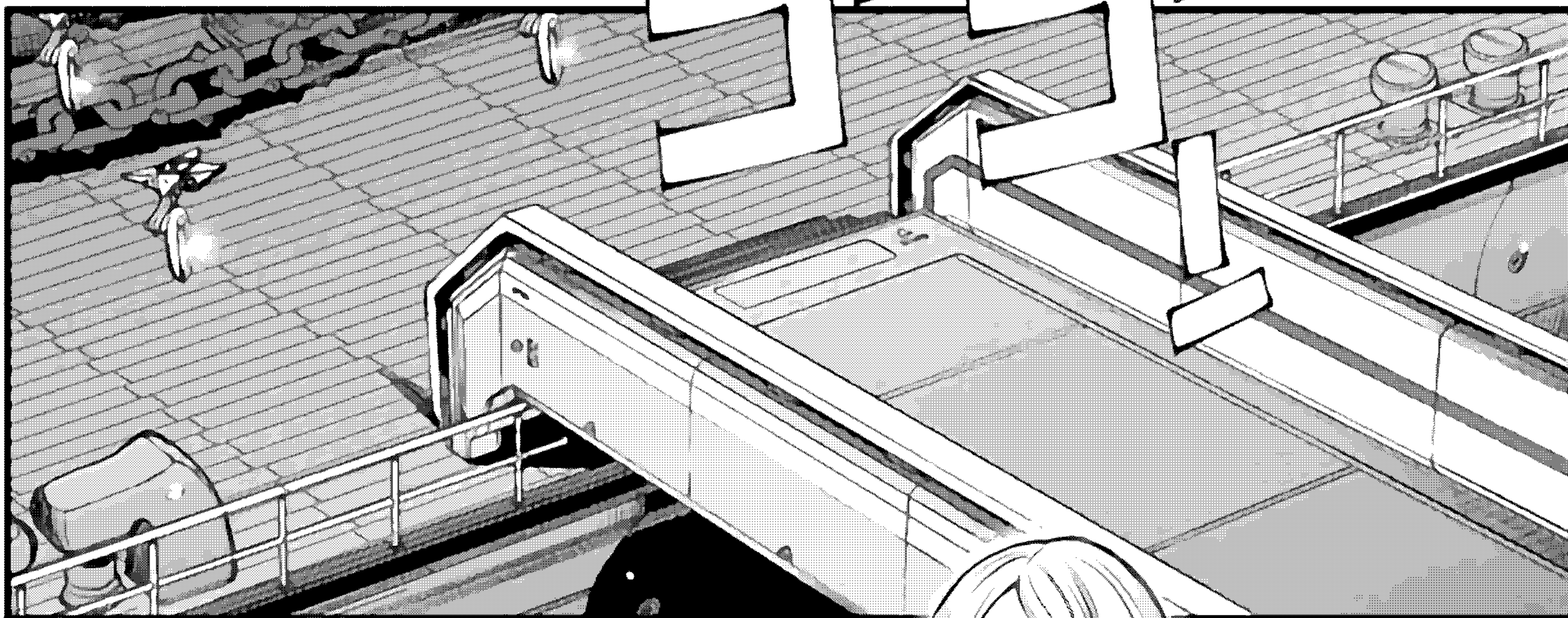
尋末を駆け抜けた  
夏腕の剣士・伊庭八郎  
の生き様がここに！

5月30日発売





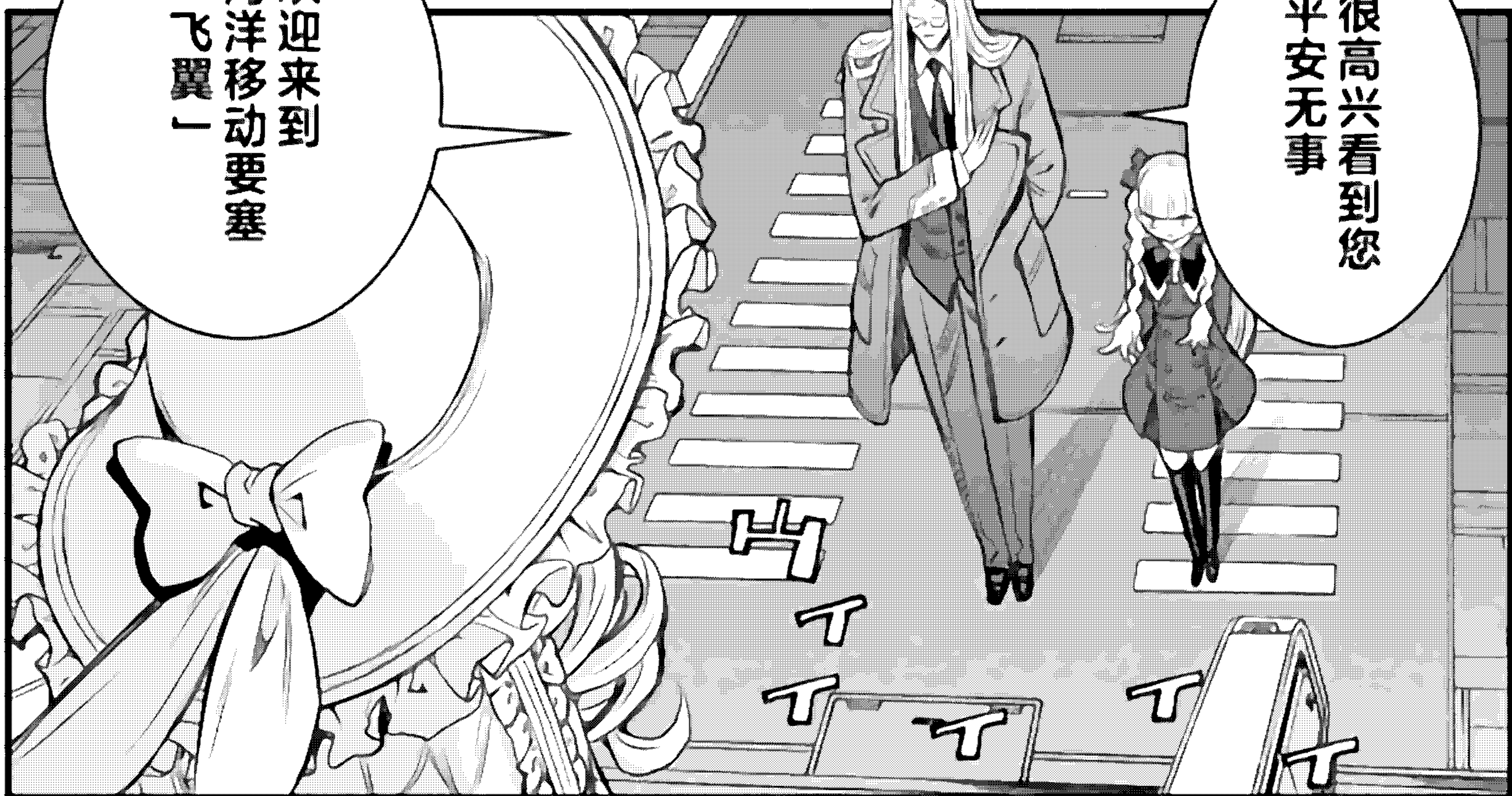






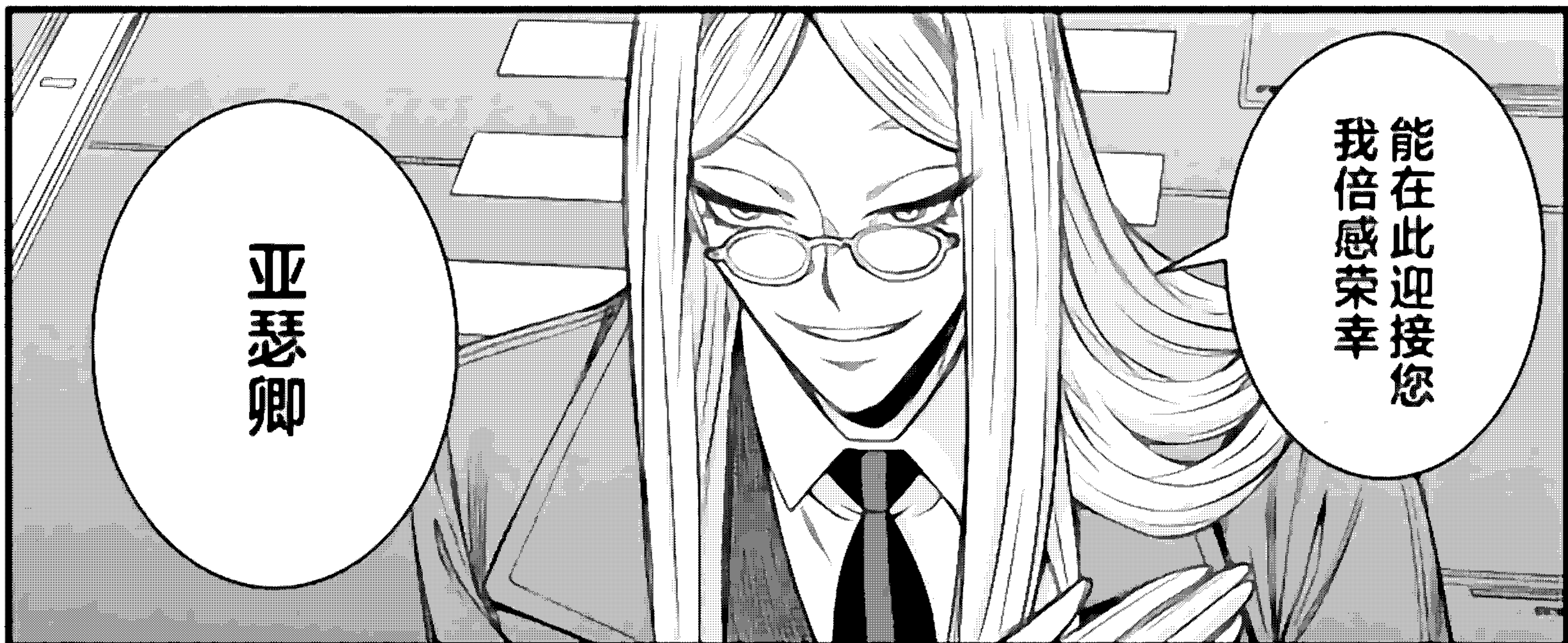
很高兴看到您  
平安无事

欢迎来到  
海洋移动要塞  
「飞翼」



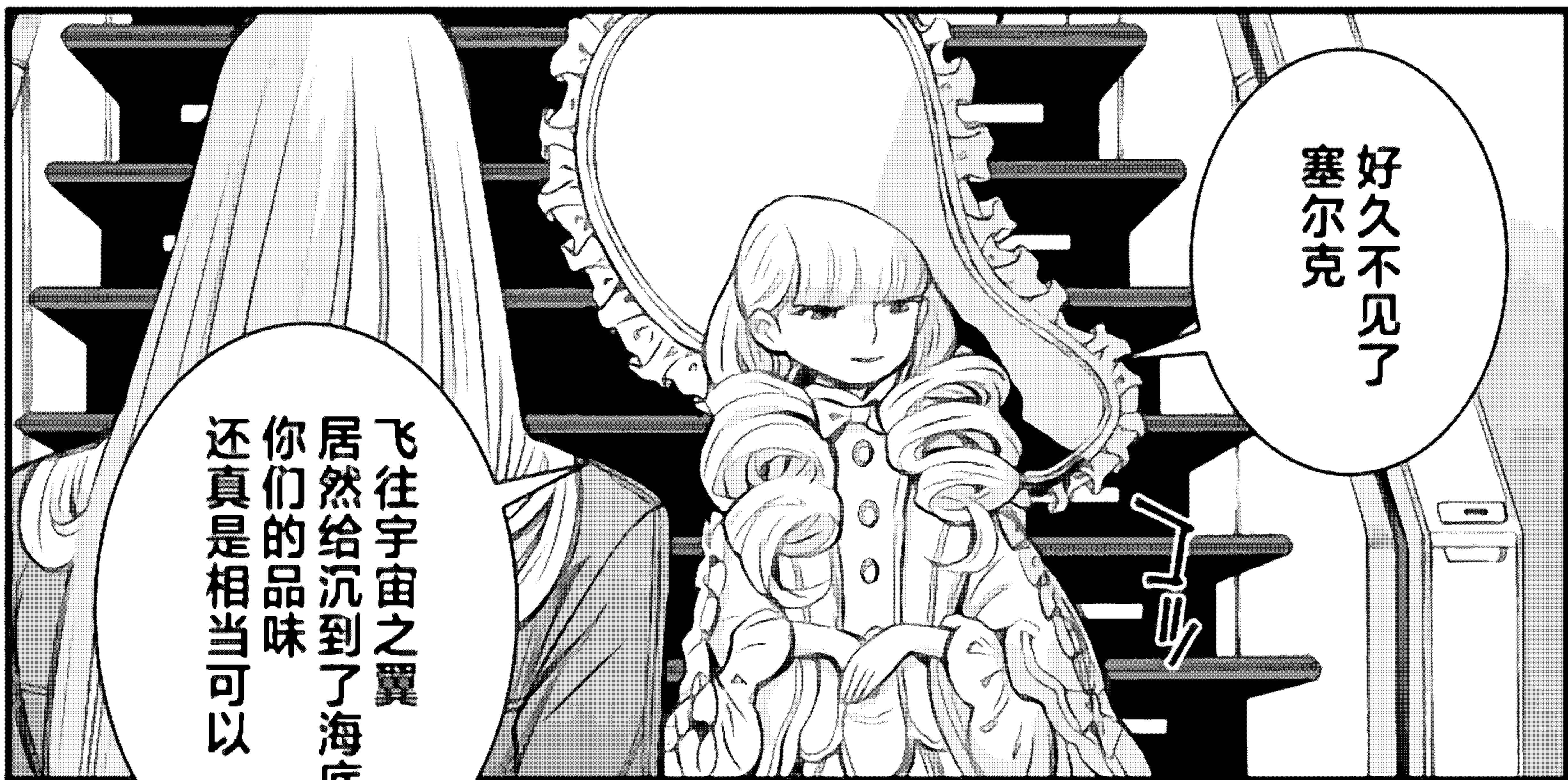
能在此迎接您  
我倍感荣幸

亚瑟卿



好久不见了  
塞尔克

飞往宇宙之翼  
居然给沉到了海底  
你们的品味  
还真是相当可以



次号  
NEXT

表紙で登場!!

表紙で登場!!

MUJIN・無尽・ 岡田屋倫一

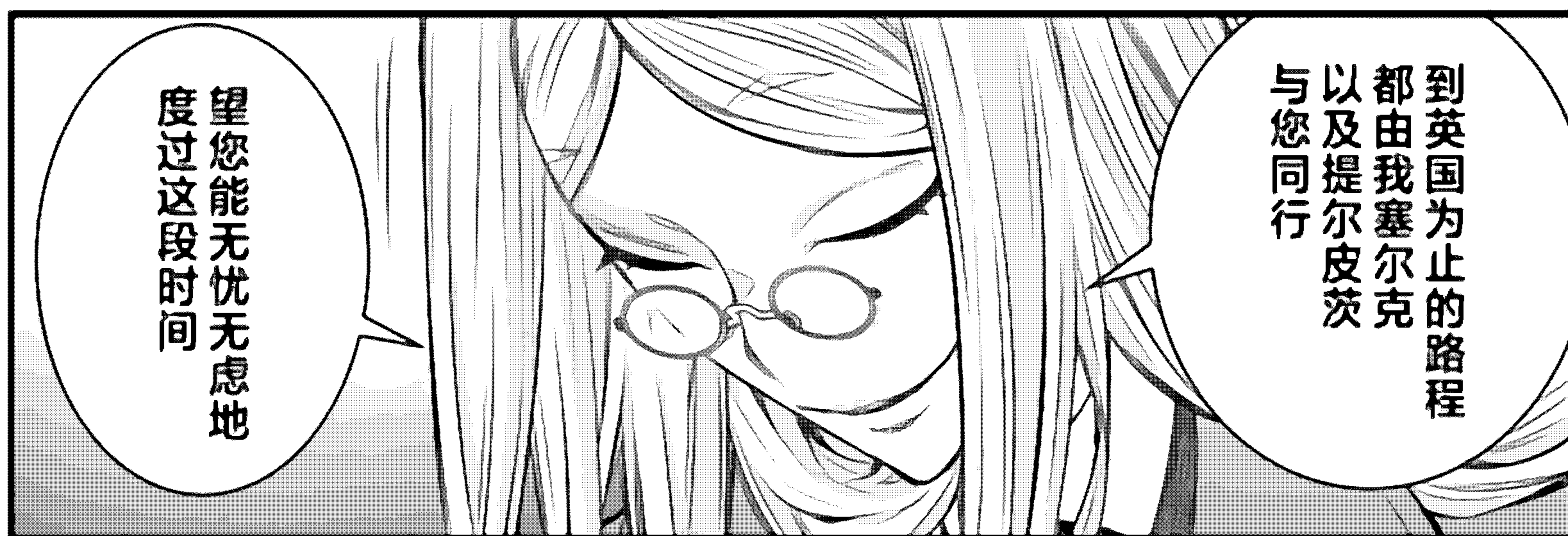
激動の時代を駆け抜ける  
伝説の騎士・伊藤八郎  
の代記―表紙で登場!!

5月30日発売



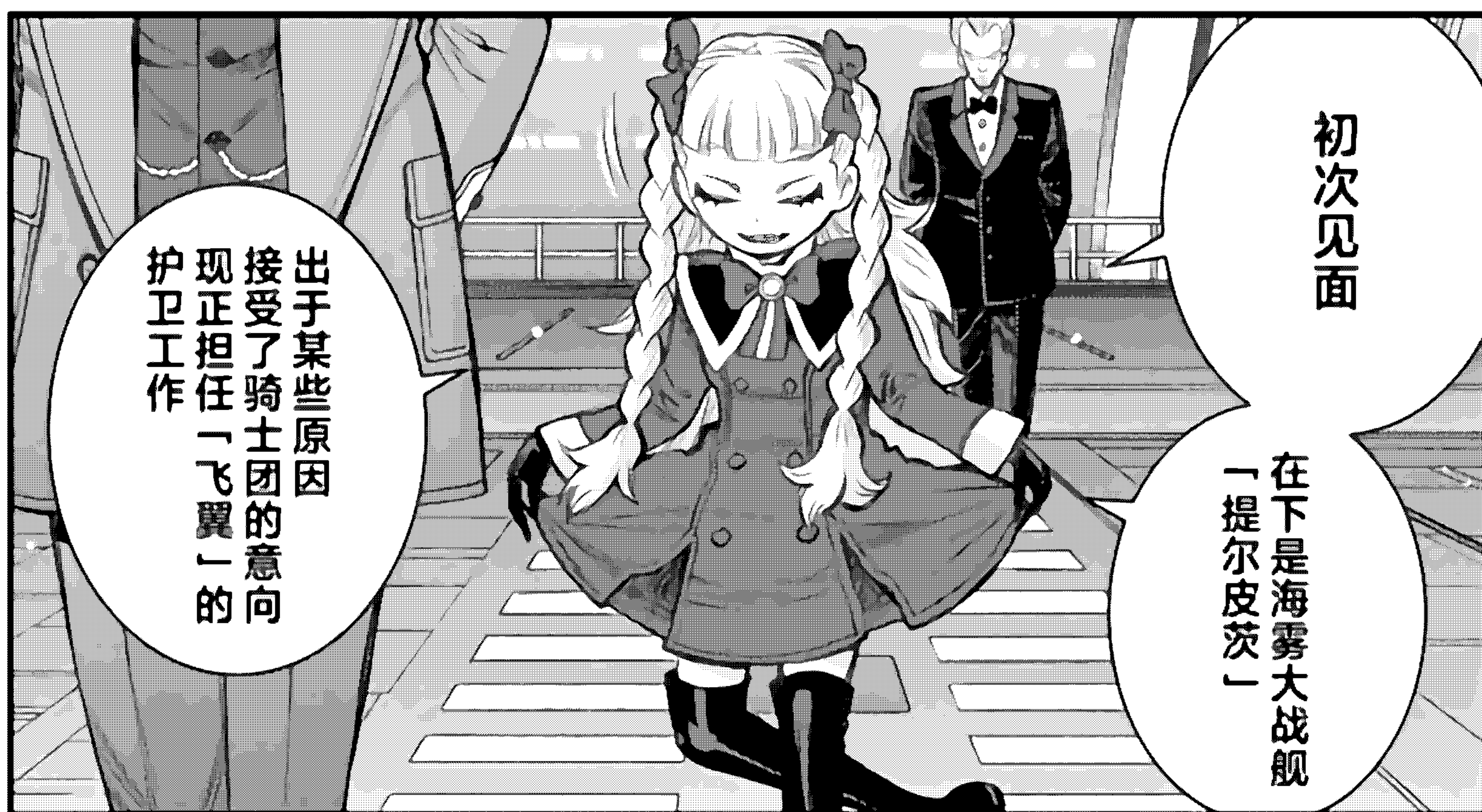
非常感谢  
您的意见

我们为您  
准备了  
单独的房间



到英国为止的路程  
都由我塞尔克  
以及提尔皮茨  
与您同行

望您能无忧无虑地  
度过这段时间



初次见面

在下是海雾大战舰  
「提尔皮茨」

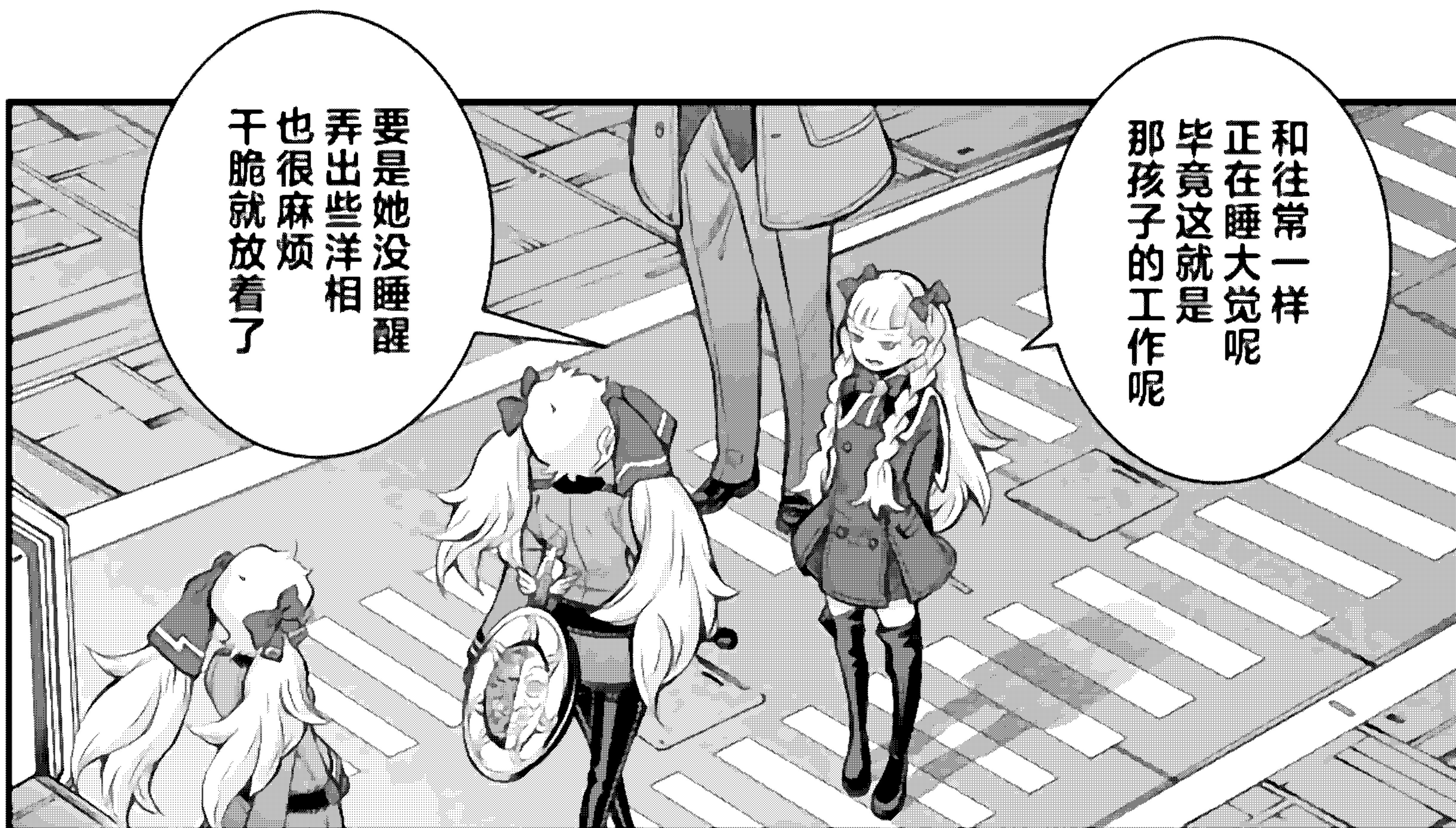
出于某些原因  
接受了骑士团的意向  
现正担任「飞翼」的  
护卫工作



请多指教

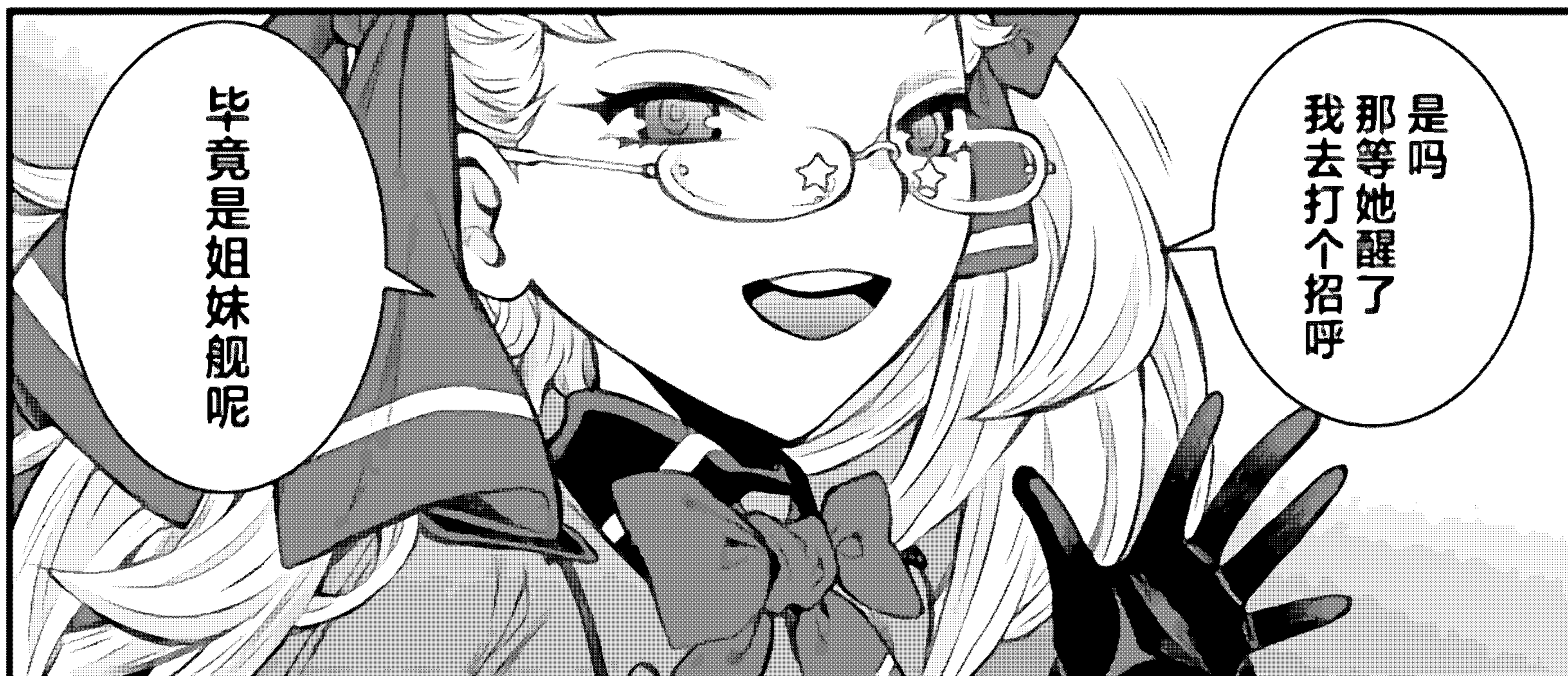
「提尔皮茨」

你的另一半  
跑去哪了？



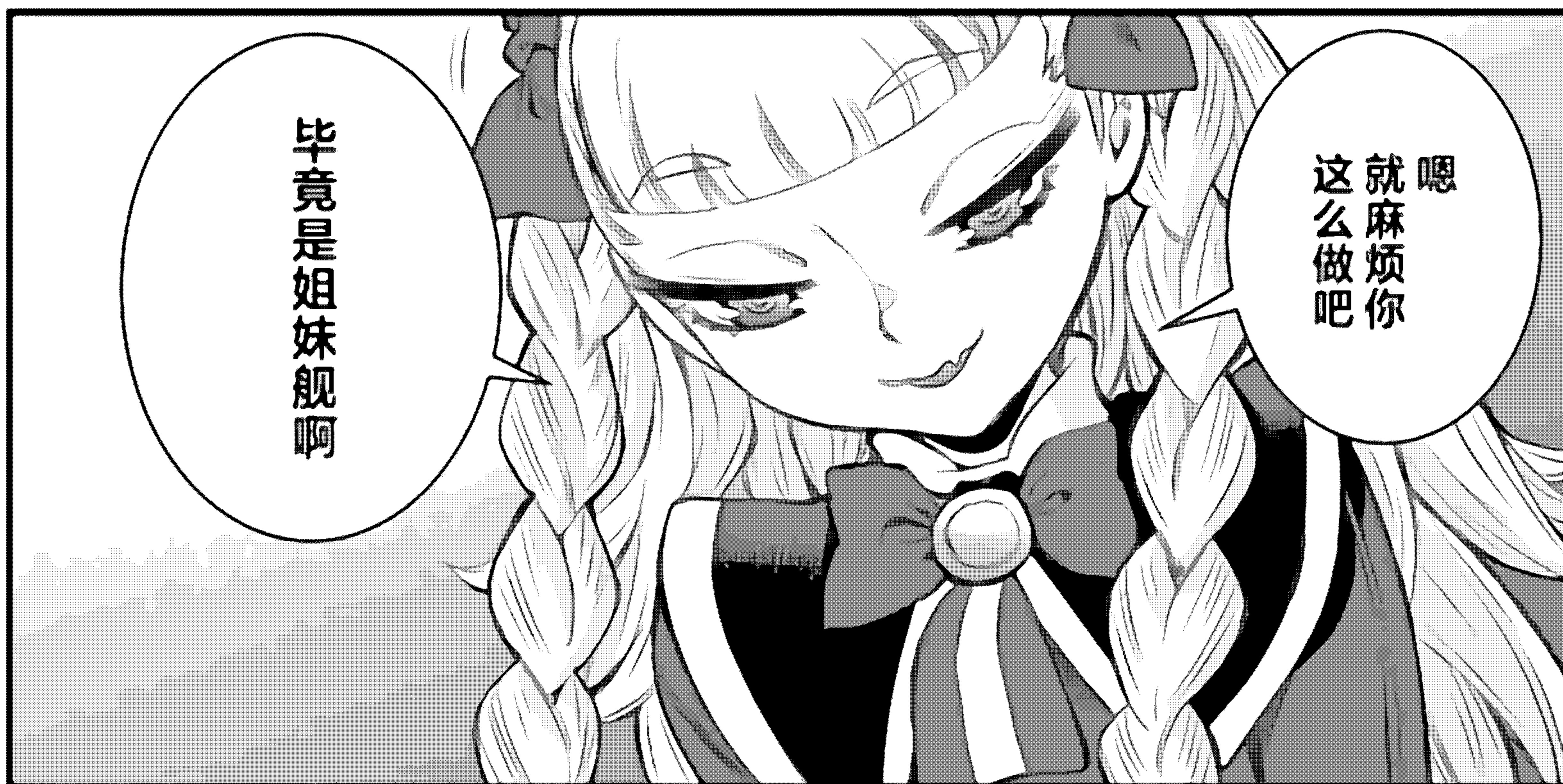
和往常一样  
正在睡大觉呢  
毕竟这就是  
那孩子的工作呢

要是她没睡醒  
弄出些洋相  
也很麻烦  
干脆就放着了



是吗  
那等她醒了  
我去打个招呼

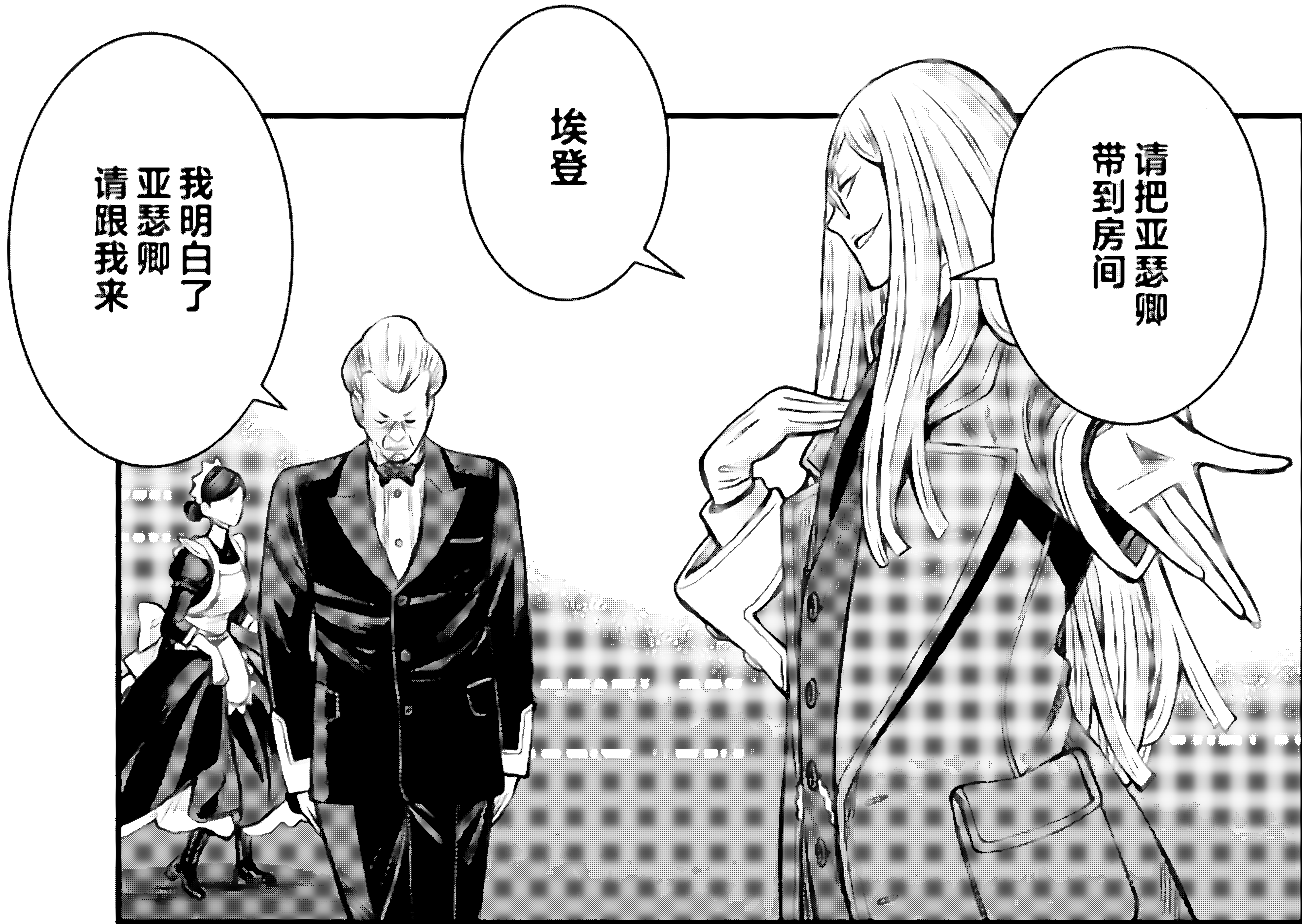
毕竟是姐妹舰呢



嗯  
就麻烦你  
这么做吧

毕竟是姐妹舰啊







德梅托莉雅

嗯嗯  
我也是哦



你们帮我想出来的  
名字呢

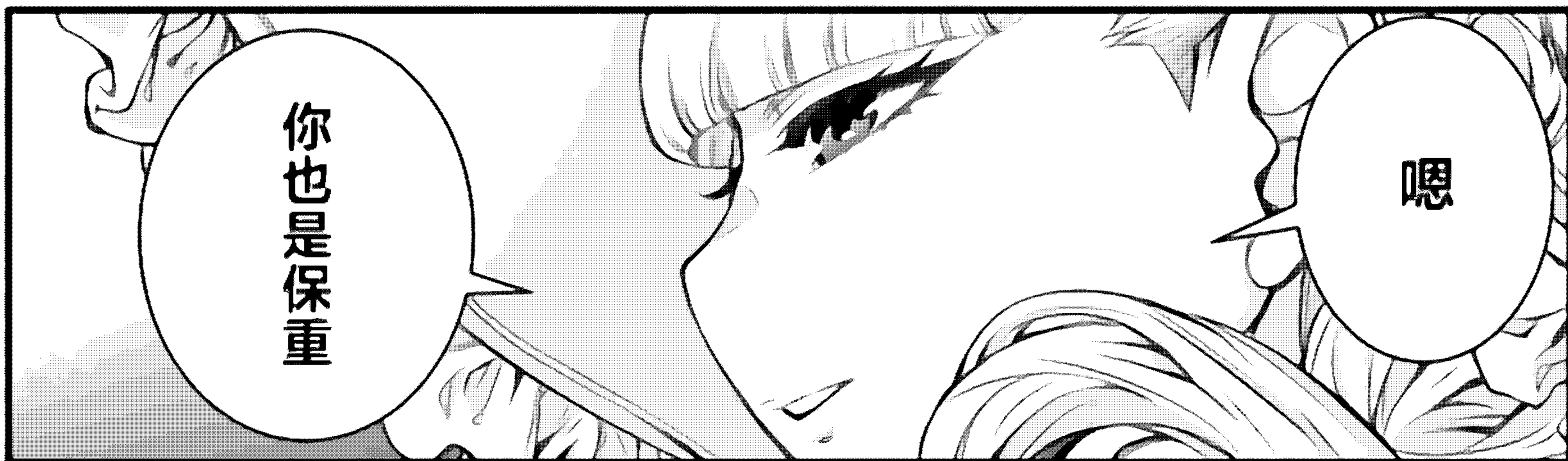
这是那个时候



我也想一直

身处能  
以这个名字叫你  
的立场上啊





次号  
NEXT

OUR'S

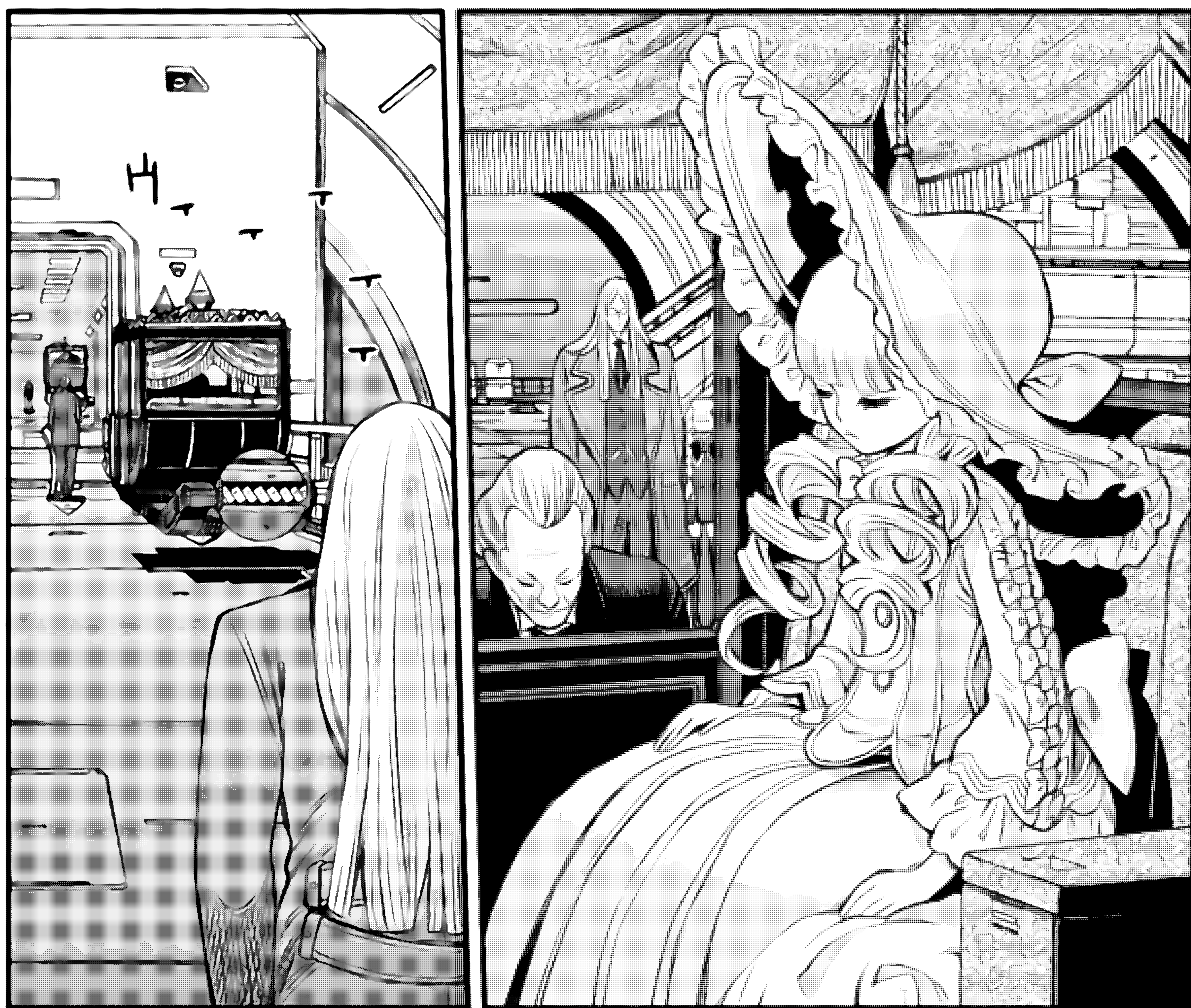
連載第2回!!

癖神のメガニコ

小野寺浩二

YES! 個性NOタッチー  
目を養える騎士淑女の冒険  
ハーレムデザイン・ユウ・メーデー!!

5月30日発売





次号

NEXT

蒼き鋼のアルペジオ

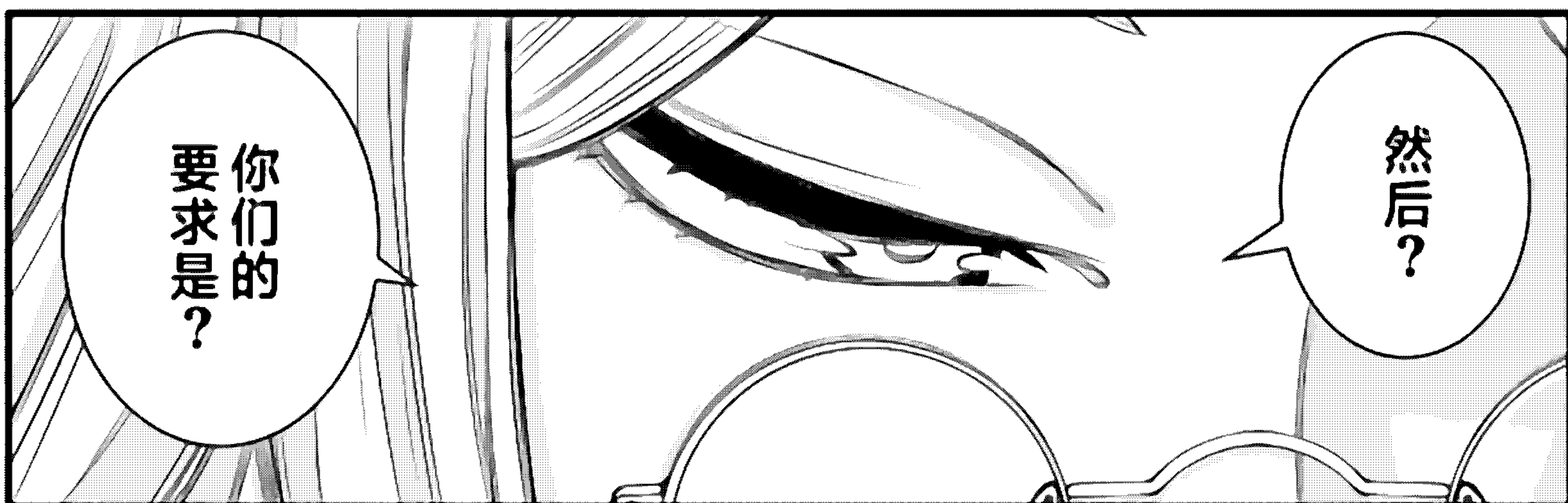
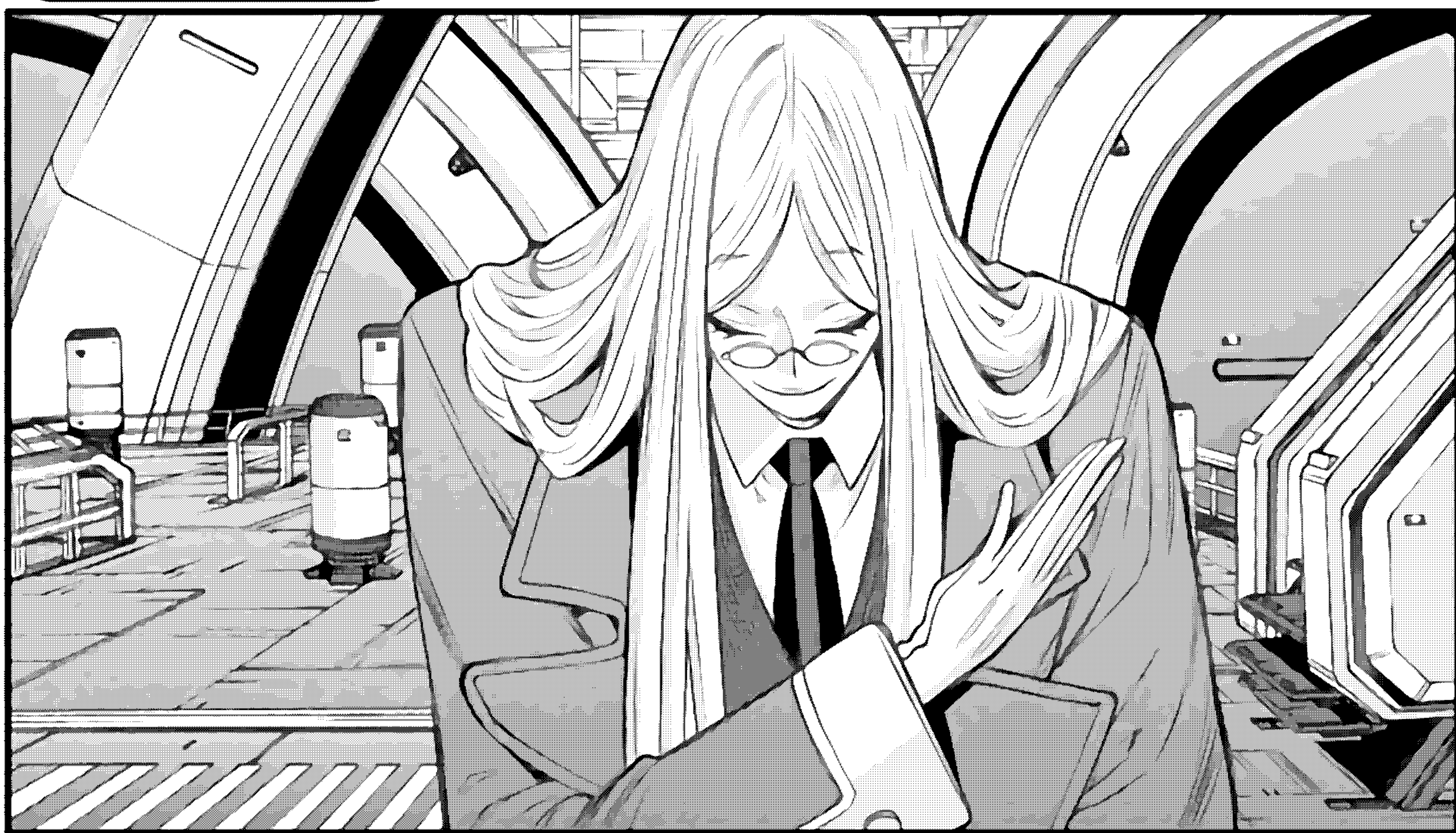
新連載開幕!!

エンゲージ・フォー・プリンセス

宇河弘樹

海の子の夏の夢をにかけて  
四人の姫が婚約バトル!!  
巻頭カラーで堂々開幕!!

5月30日発売



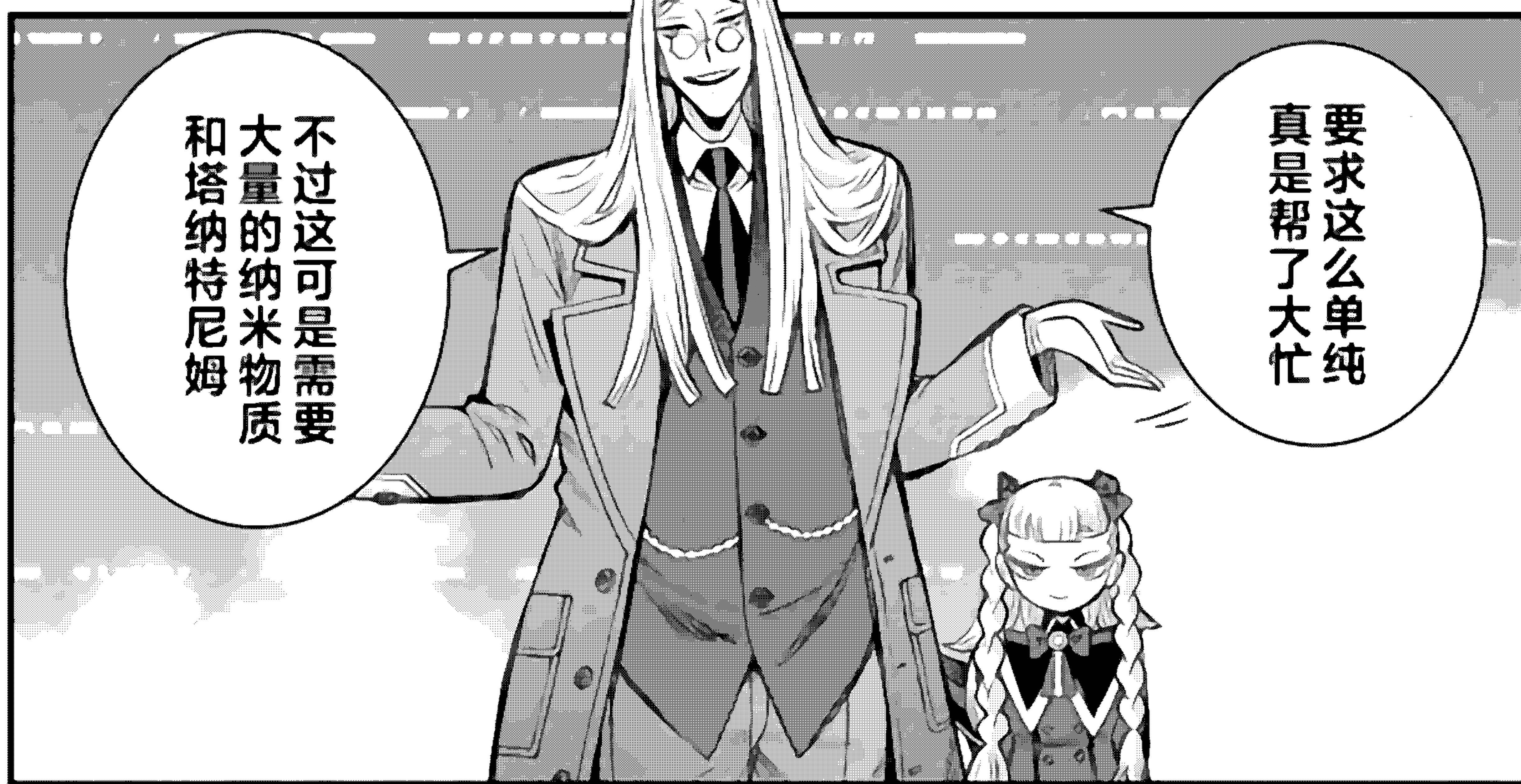


准备她们的  
船体

哎嘿嘿

麻烦您了

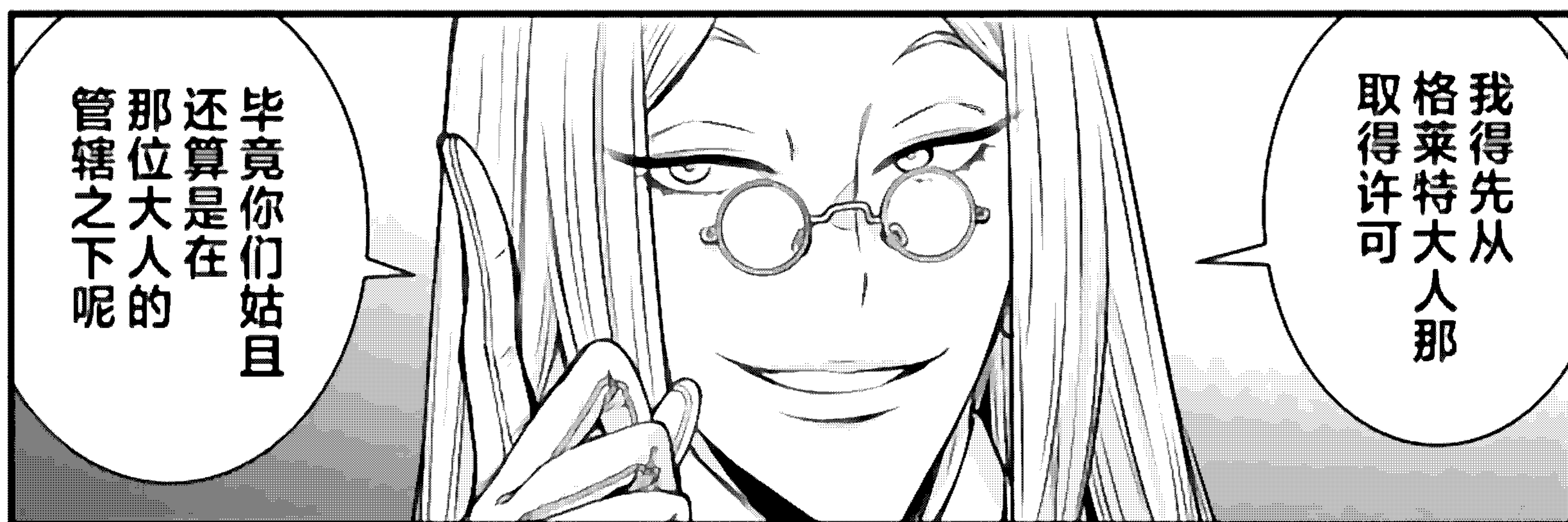
……



要求这么单纯  
真是帮了大忙

不过这可是需要  
大量的纳米物质  
和塔纳特尼姆

※译注：Thanatium，海雾的谜之物质，能放出重力子。此处懒得翻历史汉化了，直接音译。



我得先从  
格莱特大人那  
取得许可

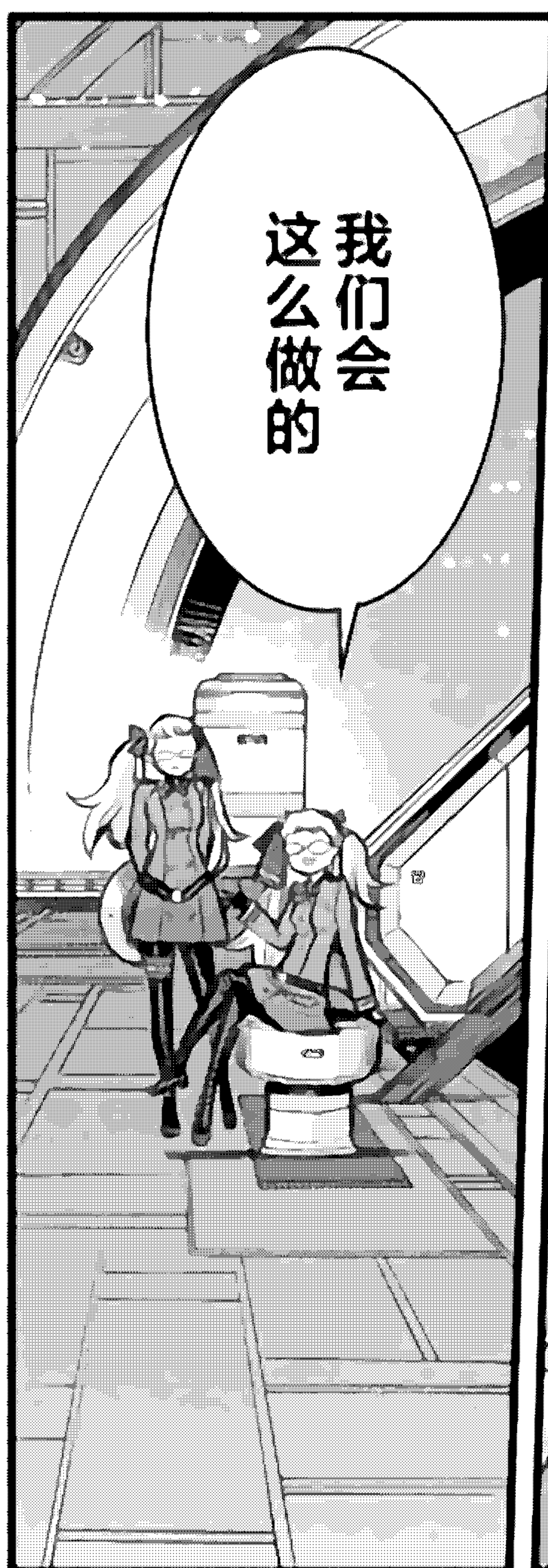
毕竟你们姑且  
还算是在  
那位大人的  
管辖之下呢





是啊  
我是——

她的伙伴哦



我们会  
这么做的



那么你们在  
事情搞定之前  
就悠闲地待着吧

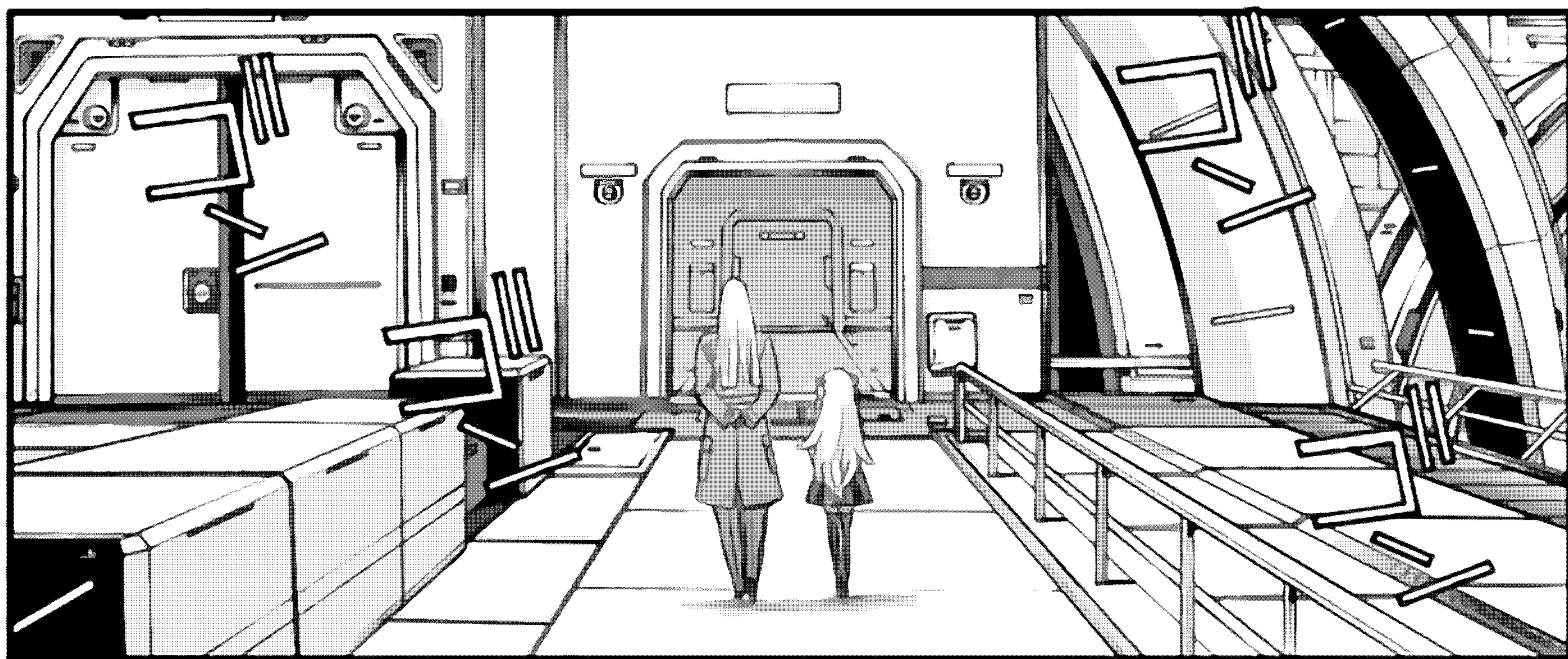
空房间  
要多少有多少  
你们随意就好了



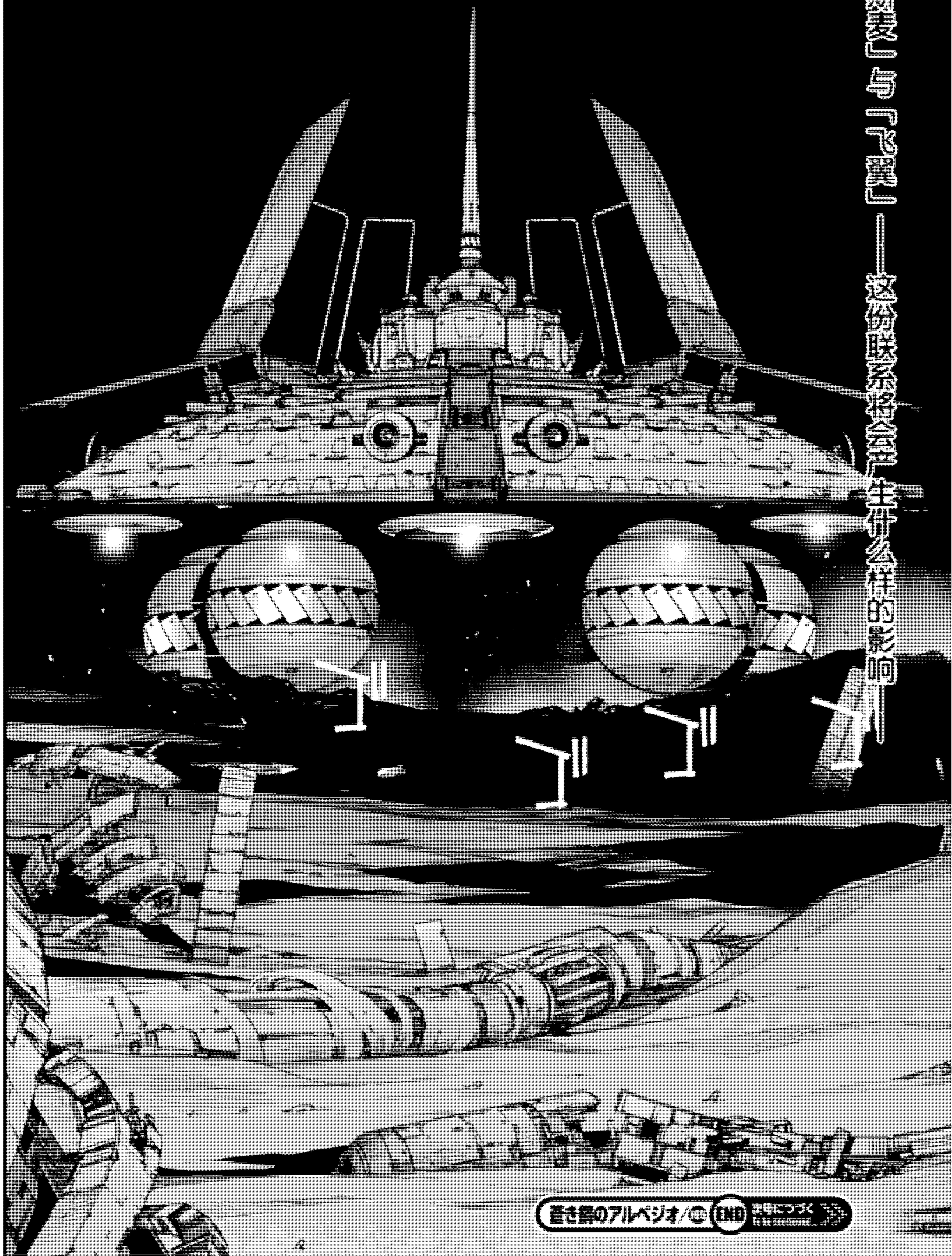




騎士大人



▽「俾斯麦」与「飞翼」——这份联系将会产生什么样的影响——





蒼き鋼のアルペジオ

# 蒼界解体新書

文・画／Ark Performance



第3回  
「ヴァーディクト」その1

このテキストはArkPerformanceが「蒼き鋼のアルペジオ」を自ら解説するために書かれている。なので劇中の内容だけではなく、メタ的な内容も記載している。目的としては「作品を創る上で必要であったが、劇中では掘り下げた表現をしない」であろう設定などを残すためだ。そのため、このテキストを読み思考を巡らせた結果、思わぬネタバレに行きつく可能性もあるテキストとなっている。このテキストを読む方々はその点、留意願いたい。

タイトルは我々が持っている未公開の設定資料を解体書と定義し、様々な新設定などを加えた本書を解体新書とした。

第3回目となる今回はこれとした。

## 「ヴァーディクト」その1

「蒼き鋼のアルペジオ」の初期において「アドミラリティ・コード」と称されていた者だ。劇中で開示された通り、真相は「ヴァーディクト」である「グレーテル・ヘクセ・アンドヴァリ」が第二次世界大戦の末期、とある事態に陥り、その際に自己の正体を認識し発した指令が「アドミラリティ・コード」であった。本来なら「ヴァーディクト・コード」と呼ぶべきもので

「魔女と呼ばれた  
事も在る者よ」



▲本編で初めて素顔を見せたグレーテル【16巻 80頁】

あるが、グレーテルは「ヴァーディクト」の存在を隠したために「アドミラリティ・コード」として発令している。

そもそも「ヴァーディクト」とは何か？

「ヴァーディクト」とはその言葉の意味の通り、宣告や評定を行う者であり、より上位の存在「エコノ」によってシミュレーションシステムに組み込まれた者である。その役割は、創造主である「エコノ」の目的を達成するためにその惑星に現われた生命体を観察、評定し、その結果、再度シミュレーションが必要であれば惑星をリセットし、次の生命体の出現を待つ事である。言わばシミュレーションシステムの管理者的存在だ。

「エコノ」は「自分のような存在はどのような形で発生していくのか？」と言う疑問に対して、



▲人類と露に対し「在り様を示せ」と宣告を発する「ヴァーディクト」【④巻 50頁】

あらゆる惑星で知性体進化のシミュレーションを繰り返しているわけだが、そのため、どう考えても進化の袋小路にはまってしまうた生命に対しては無慈悲であり、冷酷だ。失敗であるとは分かったのなら、早々に惑星をリセットし次のシミュレーションを再開したいと考えている。だがそのためには、その場に存在しない自身に成り変わり、「この知性体はもうこれ以上の進化は見込めない」と評定を下す存在が必要だ。それが評定者、そして管理者としての「ヴァーディクト」だ。

### 人類にとって評定者・管理者である「ヴァーディクト」の実態とは

知性体を評定する以上、その存在は評定対象に対して隠されていなければならない。なぜなら評定者が居ると知れば、評定される側は何かの対応や対策を始め、本来その知性体が辿

るべき進化を観察できなくなってくるからだ。そのためにはどうしても評定者の存在は一定の時期まで隠されなければならないのである。「エコン」はこれを実現するために評定者を評定する者達の中へ紛れ込ませると言う手法を取った。評定者を被評定者の中に投げ込めば、より詳細な情報を得られるし、何より存在を隠す手間が大幅に省ける。評定者自身に自分が評定者である事を意識させなければ済むのだからコストもあまりかからない。こうして評定者「ヴァーディクト」は、自分がそう言う存在である事を理解する事なく、評定される側の一員として暮らして行く存在となる。

例えば人間の場合、人間が発生したその時から人間の中に「ヴァーディクト」は紛れ込まされてきた。その者は自分が「ヴァーディクト」であるとは露とも知らずに人生を全うし死んでいく。そしてまた新たな「ヴァーディクト」が

誰に知られるともなく人間の中に生まれる。これを悠久の中、幾重にも繰り返してきた。恐竜時代には恐竜の中に「ヴァーディクト」は居ただろうし、オルドビス紀には三葉虫の「ヴァーディクト」が居たかもしれないのだ。それぞれの時代にそれぞれの「ヴァーディクト」から得られた情報を収集蓄積していった「セントラル・コア」は、最終的にシミュレーションの継続か、中止を決定する。中止と決定された場合、惑星のリセットが開始される。リセットの方法はいくつか用意され、

- ①絶望視された種のみを駆逐する
- ②環境を改変し、目的の種とその依存環境を破壊する
- ③惑星を新たに作り直す

この3系統のいずれかが選択される。地球においては、主に②の環境改変によるリセットが多用され、それが5度の大量絶滅を引き起こし、その痕跡が氷床や地層などに記録されている。劇中で人類が絶滅すれば、6度目の大量絶滅となる。

最終的に「ヴァーディクト」は「宣告」を知性体に対し行いその存在をあらわにする。その知性体の科学技術レベルが、隠蔽されている「ヴァーディクト」を発見するに足るレベルに達したと判断されると「宣告」を発するよう造られている。なぜならイレギュラーな状況で存在を明かされてしまうよりは、システムとして



都合が良い時に宣告してしまった方が良かった。劇中の「ヴァーディクト」であるグレーテルは、その存在を宣告により世界へ示した。これは評定者である「ヴァーディクト」が、霧の艦隊のメンタルモデル達までも地球に生まれた知性体として認定したために、「知性体の科学力が「ヴァーディクト」を発見するに足るレベルに達する」と言う条件を、その瞬間にクリアしたためだ。しかし翻って考えてみると、そもそも霧の艦隊を発生させる命令を発したのは、1945年のグレーテル、つまり「ヴァーディクト」自身だ。これはマッチポンプでしか無い様に見えるが、それが意味するところは何かであろうか？ この辺りは物語で解明されていく事になる。

また「ヴァーディクト」はそれぞれの時代で単独個体しか存在出来ない。「セントラル・コア」によって、その惑星に存在する最高の知性を持つと評価された種の中に「ヴァーディクト」は発生する。コアの評価が変われば、また別の種の中に「ヴァーディクト」は生まれる。先代の「ヴァーディクト」が自身がそうであるとも知らぬまま、何らかの理由で生を全うすると、次の「ヴァーディクト」が誕生する。あくまでその時代に存在できる「ヴァーディクト」は一体だけだ。こうして「ヴァーディクト」はその惑星で最高の知性を持つ種の中に紛れ、様々な事象を見聞し、体験し、無意識の内にデータ化し

て「セントラル・コア」へと送信を続ける。この様に得られたデータは最終的に「エコノ」が取得し、彼らの知識となり、判断材料となる。

だが、ここでもう一つ疑問が生まれる。劇中では「グレーテル・ヘキセ・アンドヴァリ」の他にもう一人、「ヴァーディクト」が発生しているのだ。つまりシステムのルールに反して、劇中の時代には二人の「ヴァーディクト」が存在している。これはシステムからすれば明確に異常事態と言えるだろう。では、なぜそうなったのか？

劇中では1945年に「ヴァーディクト」であるグレーテルに何かが起こっている。霧の艦隊に残されている記録によれば、その際「アドミラリティ・コード」は消失したとされている。彼女達が「アドミラリティ・コード」と呼んでいたそれは、「ヴァーディクト」が発した命令であることは劇中で語られている。では、グレーテル自身はどうであったのだろうか？ 彼女も消失してしまったのだろうか？ 少なくともこれまでの間、霧の艦隊でさえその存在は感知しておらず、宣告が発せられる2056年までその行方を追おうとしなかった。これらの混乱と隠蔽の中にグレーテルの本質が詰まって



▲レキシントン達にコトノは衝撃の事実を伝えた【7巻 189 頁】

いると思われる。それもこれから徐々に劇中で明らかになるだろう。

### 「ヴァーディクト」に課せられた もうひとつの大きな役割

そしてこの「ヴァーディクト」にはもう一つ、大きな役割が存在する。「知性体を評定するために試す」と言う役割だ。この役割が最も「蒼き鋼のアルペジオ」と言う物語の中で影響を発揮している役割と言える。「セントラル・コア」が必要と判断した場合、「ヴァーディクト」は度々、その知性体の中に何らかの刺激をもたら

# 蒼界解体新書 Anatomische Tabellen der blaue Welt



▲ガウスはグレーテルの権能によって誕生された【⑨巻 114頁】

ミュレーション手段が飛躍的に増し、より自在な検証が可能となる。これらの検証を行うために「ヴァーディクト」は覚醒以降、その人格を停止され、主「エコン」に対して以外は完全中立な存在へと至る。これは「ヴァーディクト」がその惑星で頂点に君臨することがないようにするための処置、言わば安全装置だ。

す存在となる。刺激を与えられた知性体がどのようにそれを受け止め、判断し、行動するのかを観察するためだ。例えば、偉人や賢人、独裁者などの類がそれに当たる。これらの者達ももたらす様々な刺激に対しての行動が評定材料になる。つまり歴史上に現われた、あの発明者やあの発見者、歴史的な暴政・圧政を敷いた者達、英雄や奸雄などは実は「ヴァーディクト」であつたのかもしれない。もちろんこれらの存在は全員、自分が「ヴァーディクト」であるなどとは知らずに、その与えられた本質と性質に従って生を全うした。

により与えられた権能によってマルチバースから情報を得ることが可能になり、そこで知った存在を情報化して任意のフィールドに再構築する事が可能となる。この能力もまた「試す」ために用いられる。

例えば劇中においては、「騎士団」と言う枠組みを創設した「アンジェラス・リード・ガウス」の再現と顕現、そしてドラマCD「蒼海の邂逅」における別世界線の「イ401」の擬似召喚はそれに当たる。別の世界線で確認した存在を情報化、その後転移させたい世界においてはその物理的な部分をナノマテリアルで構築、情報化した存在をその中に流し込み再現する。これにより「ヴァーディクト」は、調査対象に対するシ

無感情に無慈悲に、「エコン」が求めるデータを取得するために必要なあらゆる手段を行使し続ける。最終的に「ヴァーディクト」は惑星規模の検証を行い、「セントラル・コア」と共に判断対象の存在について可否を決定するだろう。

だが、劇中に登場した「ヴァーディクト」であるグレーテルはとても人格を停止しているとは思えない。宣告時以外のその言動は個性豊かであり、グレーテルであり続けている様にも見える。もちろんシステムがそれを必要と判断したためにグレーテルである事を演じている可能性もあるが、現時点ではそれを確かめる判断材料は無い。果たして彼女はどのような存在となっているのか？ もう一人の「ヴァーディクト」の存在とその意味は？ これらは劇中で語られていく事だろう。だがそれは2056年の話である。現在、2025年にも「ヴァーディクト」は、本人がそうである事を自覚できないまま存在している。

あなたの周囲に居る、ちょっと個性的な人、優秀な人、強運の持ち主、その人はもしかしたら「ヴァーディクト」なのかもしれない。

(第3回「ヴァーディクト」その1完)

▶悪夢をつくグレーテル【⑨巻 106頁】

